

DRV-MR570D

スタンドアローン型

前後撮影対応 2 カメラドライブレコーダー

取扱説明書 保証書付

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド



正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

もしものときは！！

必要な録画 / 記録ファイルが上書きされないように
本機の電源をオフにして microSD カードを取り出してく
ださい。(→ P.26)

microSD カードを本機に挿入する前に 14 ページの
「microSD カードについて」をお読みください。

My-Kenwood (ユーザー登録)のご案内

お買い上げいただきました製品を「登録」していただくと、ご使用いただいている製品のサポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。
下記ウェブサイトにて会員規約をご確認になり、My-Kenwoodをご利用ください。
<https://jp.my-kenwood.com>

目次

本書の見かた	3	常時録画	29
ドライブレコーダー機能ガイド	4	イベント記録	30
録画機能について	4	駐車録画	31
運転支援機能について	5	駐車録画機能をオンにする	32
音声ガイド機能について	5	写真を撮影する(静止画記録)	35
SD メンテナンスフリー機能について	5	フォルダ / ファイル構成	36
リアスモークガラス調整機能について	5	再生する	37
STARVIS™ について	5	ファイル選択画面のアイコン	37
安全上のご注意 (必ずお読みください)	6	ファイルを再生する	37
内蔵電池について		再生メニューの操作	39
(本機は充電式電池を内蔵しています)	7	運転支援機能を使う	40
取り付けや配線について	8	運転支援機能についてのご注意	41
使用方法について	10	メインユニットのカメラ位置と	
異常時の問い合わせ	11	ボンネット位置を調整する	41
使用上のご注意	12	2nd カメラのカメラ位置を調整する	43
取り付けについて	12	運転支援機能をオン / オフする	44
ご使用について	12	設定を変更する	46
電源について	12	各機能の設定を変更する	46
内蔵バッテリーについて	12	メニューの一覧	47
衛星受信について	12	LCD 表示時間の設定を変更する	52
本機のお手入れ	12	microSD カードをフォーマットする	53
駐車録画について	13	パソコンツールを使う	55
microSD カードについて	14	インストールする	55
本機で使用する microSD カード	14	録画ファイルの再生	55
当社推奨 microSD カード	14	故障かな?と思ったら	56
microSD カード使用上のご注意	14	共通	56
ファイルについての注意	14	駐車録画	58
各部の名称とはたらき	15	イベント記録	58
メインユニット	15	運転支援	59
2nd カメラ (車外後方撮影用)	16	時計	60
本機のボタン操作を禁止 (ロック) /		KENWOOD ROUTE WATCHER II	60
解除する	17	表示メッセージと音声ガイド	61
操作ボタンとアイコンについて	18	付録	63
取り付け / 配線のしかた	20	モニター画面について	63
取り付け時のご注意	20	商標について	63
メインユニットを取り付ける	20	ソフトウェアについて	63
2nd カメラを取り付ける	21	ソフトウェア使用許諾契約書	66
接続する	22	主な仕様	68
推奨取り付け位置	24	保証とアフターサービス	70
ご使用の前に	26	保証書	72
電源をオン / オフする	26		
microSD カードを入れる / 取り出す	26		
microSD カードをフォーマットする	27		
録画する・写真を撮影する	28		
メインユニットと 2nd カメラの映像を			
切り替える	28		
録画・撮影画面のアイコン	29		

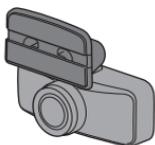
本書の見かた

表記	説明
(→ P.34)	本書の参照するページを表しています。
「音声記録設定」	本機に表示されるメニュー名を表しています。
[画面切替] (決定)	本機のボタン名を表しています。
	手順の補足説明や制限事項について説明しています。
つづく	説明が次のページに続いていることを表しています。 右ページのみに表示します。

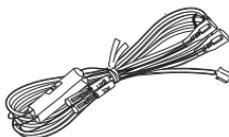
- 本書の画面や操作例は操作説明用に作成したものです。
実際の画面と異なる画面や、実際には行えない例が記載されている場合があります。
- 最新の取扱説明書やファームウェアのアップデート情報などについては、
当社ホームページ <https://www.kenwood.com/jp/support/car/> をご覧ください。

付属品

車外後方撮影用カメラ
(ブラケット付き) x 1



電源ケーブル
(3.5m) x 1



車外後方撮影用カメラ
ケーブル (8.0m) x 1



メインユニット取付ブラ
ケット (両面テープ) x 1



アダプター付き microSD
カード (32GB) x 1



SD スロットカバー x 1



カバー取付用六角レンチ x 1



カバー取付用ネジ x 2



(1 本は予備です)



- microSD カードは消耗部品です。消耗部品の交換は保証期間内でも有料になります。

ドライブレコーダー機能ガイド

本機は付属の microSD カードにメインユニットと車外後方撮影用カメラ（以降 2nd カメラ）の映像および写真を、LCD 画面の表示に関係なく同時に記録保存します。必ず microSD カードを挿入してからお使いください。

microSD カードの入れかたについては 26 ページをご覧ください。

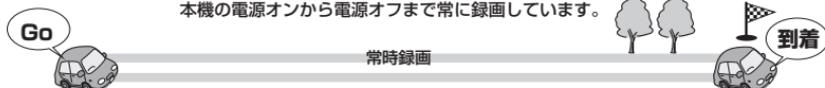
録画機能について

車両のエンジンスイッチを「ACC」または「オン」にしている間は、本機の電源がオンになり、常に録画を続けます（常時録画）。常時録画中に、車両に大きな衝撃が加わった場合は、その前後の映像を記録します（イベント記録）。

また、駐車中は車両に大きな衝撃を検知すると、検知前後の映像を録画します（駐車録画）。イベント記録の衝撃検知、駐車モードの衝撃検知はメインユニットのみで機能します。

常時録画（→ P.29）

本機の電源オンから電源オフまで常に録画しています。



イベント記録（→ P.30）

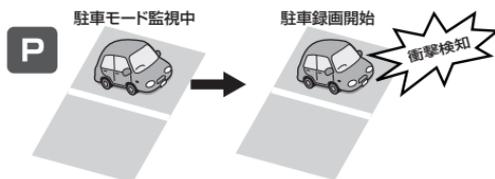
本機が衝撃を検知すると常時録画からイベント記録に切り替わり、イベント記録ファイルを「Event」フォルダに保存します。



駐車録画（→ P.31）

駐車録画を使う場合は「駐車モード設定」を必ず「オン」にしてください。（→ P.32）

・ 駐車中に本機が監視を行い、衝撃を検知すると駐車録画を開始します。



■ イベント記録の手動録画

常時録画中に本機の (REC) ボタンを押すと、イベント記録の手動録画を開始します。

手動録画が終了すると常時録画に戻ります。

(→ P.30)



■ 写真撮影 (静止画記録)

録画中に本機の [📷] (▼) ボタンを押すと、

写真を撮影します。(→ P.35)



運転支援機能について

本機には発進遅れ警告、車線逸脱警告、前方衝突警告、後方急接近警告、リフレッシュ通知、エコドライブ表示の6つの運転支援機能があります。

各機能については事前に本機の調整と設定が必要です。(→ P.40)

発進遅れ警告、車線逸脱警告、前方衝突警告(前方カメラを使用する機能)を使用する場合は、後方急接近警告(後方カメラを使用する機能)は使用できません。また、後方急接近警告を使用する場合は、発進遅れ警告、車線逸脱警告、前方衝突警告は使用できません。

音声ガイド機能について

エラーメッセージなどを警告する際、液晶画面へのエラー表示だけでなく、音声でも警告をお知らせします。

SD メンテナンスフリー機能について

本機は microSD カードの書き込みエラーが起きにくい独自システムを採用しています。そのため定期的なフォーマット(初期化)は不要です。ただし、付属の microSD カードもしくは推奨品以外をご使用の場合は、正しく動作しないことがあります。

リアスモークガラス調整機能について

本機はリアスモークガラスの濃さに合わせて、録画映像の明るさを調整できます。

(→P.49 録画設定「明るさ」)

STARVIS™ について

本製品には、夜間などの暗い場所でも明るく撮影できる、裏面照射型画像技術「STARVIS」を採用した CMOS イメージセンサーを搭載しています。

STARVIS

安全上のご注意（必ずお読みください）

■ 本機の取り付け、配線、操作を始める前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

● 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

 危険	人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

● お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意（しなければならない）の内容です。
	禁止（してはいけない）の内容です。
	実行（かならず行っていただく）の内容です。

● 免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

● 著作権について

- ・録画・撮影・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- ・鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。

内蔵電池について（本機は充電式電池を内蔵しています）

危険



本機（内蔵電池）の取り扱いに注意する

本機は充電式電池を内蔵しています。次のことを必ず守ってください。

- 分解・改造しない
- 加熱したり、火の中に入れてたりしない
- ダッシュボードなど直射日光の強いところや炎天下の車内などの異常に高温となる場所に放置しない

内蔵電池が発熱、破裂、発火、液もれをし、火災やけがの原因となります。



内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する

本機の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。

- 内蔵電池を過熱したり、分解・改造したり、火や水の中に入れてはいけない
- 内蔵電池を火のそばや炎天下などに置かない
- 内蔵電池のコネクターに絶縁テープをはる

発熱、破裂、発火、液もれをし、火災やけがの原因となります。

警告



内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する

本機の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。

- 内蔵電池は、幼児の手の届く場所に置かない
- 内蔵電池の液がもれて目にはいったときは、すぐにきれいな水で目を洗い、医師の治療を受ける

けがや事故の原因となります。

安全上のご注意（必ずお読みください）

取り付けや配線について



警告



本機は DC12V/24V ⊖アース車以外で使用しない

火災や故障の原因になります。DC12V/24V ⊖アース車以外で使用しないでください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない

エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを絶対に使用しない

交通事故やケガの原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない
交通事故やケガの原因となります。

本機は保安基準の取り付け許容範囲外に貼り付けない

視界不良や本機がはずれて、事故の原因となります。



取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する

取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をするると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

説明書に従って取り付け・配線をする

火災や故障の原因となります。作業は手順どおりに正しく行ってください。

作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付けの場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する

被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する

車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

ネジなど小物部品や microSD カードは乳幼児の手の届かないところに置く
あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、
ただちに医師と相談してください。

注意



水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

機器の通風口や放熱板をふさがない

機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。



コードの扱いに注意する

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

安全上のご注意（必ずお読みください）

使用方法について

⚠ 警告



分解・修理および改造はしない

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。



音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

故障や異常な状態のままで使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止して電源コードを本機から外してください。事故や火災、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。



雷が鳴り出したら、電源コードや本機に触れない

落雷による感電の原因となります。



ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にご依頼してください。

⚠ 注意



本機を車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。



走行前に本機の取り付け状態を点検する

本機の脱落、落下等により、けがや交通事故の原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

警告



異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口に相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

注意



落としたら使用を中止する

機器を落としたり、強い衝撃が加わったりした場合は、内蔵電池が損傷している恐れがありますので、使用を中止し、点検・修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

使用上のご注意

取り付けについて

- ・誤った取り付けをした場合は、本機が正しく動作しないことがあります。取り付け方向、取り付け角度など「取り付け / 配線のしかた」(→ P.20) を参照して本機を正しく取り付けてください。

ご使用について

- ・もしものときに備えて、本機の録画機能が正しく働いているか定期的に確認してください。本機で録画した microSD カードの映像を本機またはビューアソフト「KENWOOD ROUTE WATCHER II」で再生し、最新のファイルが録画されているかなどの確認を行ってください。(→ P.37/P.55)
- ・カメラのレンズをふさいだり、汚したり、レンズの近くに反射物を置かないでください。
- ・車両のフロントガラス / リアガラスにコーティング剤が使用されている場合は、録画品質に影響が出る可能性があります。
- ・本機が応答しなくなった場合は、電源を入れ直してください。電源を入れ直すには本機の底面にある RESET ボタンを先端が細い爪楊枝等で押します。電源が切れて、再度オンになります。(→ P.16)
- ・LED 信号機の色が認識できなかつたり、ちらついたりする映像が記録される場合がありますが、本機の故障による症状ではありません。信号機の識別や記録に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・本製品は、あらゆる状況においての映像の記録を保証するものではありません。

電源について

- ・本機の動作電源電圧は DC12V/24V です。必ず付属の電源ケーブルを使用し接続してください。ケーブルの改造 (バッテリーに直接つなぐ) などは絶対に行わないでください。

内蔵バッテリーについて

- ・本機は時計のバックアップをするためのリチウム二次電池を内蔵しています。
- ・購入直後はバッテリーが十分に充電されていません。時刻がリセットされるときは、本機の電源を 1~2 時間オンにして充電してください。

衛星受信について

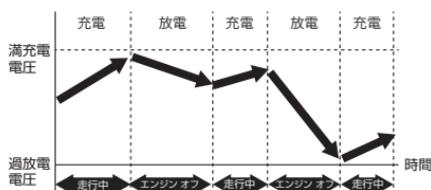
- ・GPS は、GPS の性能について全責任を負う、米国政府によって運営されています。
- ・衛星信号は、固体物質 (ガラスを除く) を通過することができません。トンネルや建物の中にいる場合、衛星信号の受信ができません。衛星信号の受信は、悪天候や密集した頭上の障害物 (例えば、樹木、高架橋または高層ビル) などの影響を受ける可能性があります。

本機のお手入れ

- ・本機が汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり変形や変質、破損の原因になります。
- ・レンズ部が汚れている場合には、柔らかい布で軽く拭いてください。強くこすると傷の原因になります。
- ・ご使用前にブラケットの接着面がはがれていないか、また、ネジの緩みなどがいないことを確認してからご使用ください。

駐車録画について

- 本機は車両の電源を常時使用しているため、車両のバッテリーに対して負荷がかかります。長期間車に乗らない場合や短距離の運転を繰り返すと、車載機器の消費電力により徐々にバッテリー電圧が低下してしまいます。(下図) バッテリー上がりを防止する為に、こまめに車のエンジンをかけてバッテリー電圧が下がらないように心がけてください。



- 車両に取り付けられた他の電装品の暗電流や使用環境によってもバッテリーに負荷がかかります。バッテリー上がりを起こす原因になります。本機の電圧カットオフ値を設定する際にはご注意ください。
- 車両のバッテリー上がりについては、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承いただいたうえでご使用ください。

microSD カードについて

本機で使用する microSD カード

- ・同梱 microSD カード (32GB)
 - ・当社推奨 microSD カード
 - ・以下の仕様を満たす microSD カード
- | | |
|------------|--------------|
| 容量 | 16GB ~ 128GB |
| ビデオスピードクラス | V30 以上推奨 |
- ・同梱の microSD カード (32GB) は本機の「SD カード寿命告知機能」に対応しています。この機能は microSD カードの製品寿命が近づくと「SD カードの交換推奨時期です」と音声で通知するものです。通知があった場合は早めに microSD カードを交換してください。
 - ・すべての microSD カードでの動作を保証するものではありません。

当社推奨 microSD カード

- ・当社製寿命告知機能対応 microSD カード (別売品) 詳細は https://www.kenwood.com/jp/products/car_audio/option をご覧ください。

microSD カード使用上のご注意

- ・市販の microSD カードを使用するときは、microSD カードに付属している取扱説明書もあわせてご確認ください。
- ・16GB 未満の microSD カードを使用する場合、記録が残らない場合があります。
- ・microSD カードは繰り返しデータを書き換えることにより消耗する特性を持っており、製品寿命があります。定期的に新しい microSD カードと交換することをお勧めします。
- ・microSD カードは消耗部品です。消耗部品の交換は保証期間内でも有料になります。
- ・本機は microSD カードの書き込みエラーが起きにくい独自システムを採用しています。そのため定期的な初期化は不要です。ただし、付属の microSD カードもしくは推奨品以外をご使用の場合は、正しく動作しないことがあります。
- ・はじめに使用する microSD カード、また、パソコンなどで microSD カード内のファイルの変更や削除などをした microSD カードを挿入するときは、microSD カードのフォーマット (初期化) が必要です。
- ・本機の手続き読み取りおよび書き込み速度は、microSD カードの仕様によって異なる場合があります。

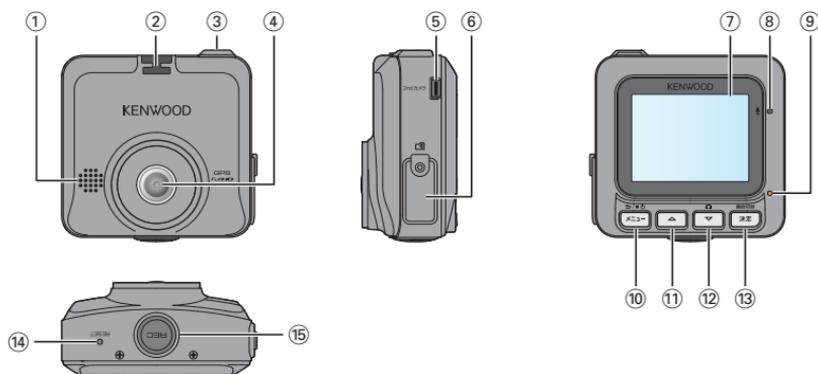
- ・カメラなど、他の機器で microSD カードのフォーマット (初期化) を行うと、本機で正常に動作しません。microSD カードのフォーマットは必ず本機で行ってください。フォーマットできない microSD カードは使用できません。
- ・分解や改造を行わないでください。
- ・microSD カードの上に物を置いたり落としたり、強い衝撃を与えないでください。また、清潔で乾燥した場所に保管し、高温多湿の場所には放置しないでください。
- ・microSD カードの端子部分を指で触ったり、金属片で引っかいたりしないでください。
- ・データが壊れる可能性がありますので記録中や再生中に microSD カードを取り出さないでください。
- ・microSD カードは普通に使用していても正常に書き込みや消去ができなくなる場合があります。
- ・必要なファイルは必ずパソコンなどに保存 (コピー) してください。
- ・microSD カードの使用状況によっては、保存内容が失われる可能性があります。保存ファイルが失われたことによる損害については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ・microSD カードを着脱するときは、方向を確認し、折り曲げたり強い圧力や衝撃を与えないでください。

ファイルについてのご注意

- ・microSD カード内の必要なファイルは必ずパソコンなどに早めに保存 (コピー) してください。保存ファイルが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・microSD カードのフォーマットを行うと、保護したファイルを含むすべてのファイルが消去されます。
- ・本機の microSD カードフォーマットや削除、パソコンの機能によるフォーマットでは、ファイルの管理情報が変更されるだけで、microSD カード内のデータは完全に消去されません。
- ・廃棄 / 譲渡の際は、microSD カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使って microSD カード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
- ・microSD カード内のデータはおお客様の責任において管理してください。

各部の名称とはたらき

メインユニット

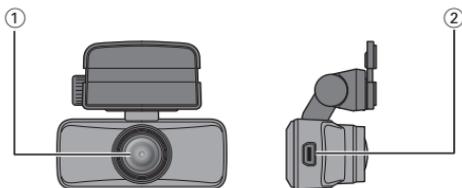


番号	名称	はたらき
①	スピーカー	音声ガイドや警告音、ファイル再生時の音声を出力します。音量の設定については、「システム設定」の「システム音設定」、「音量設定」をご覧ください。(→ P.50)
②	取付ブラケット挿入部	付属の取付ブラケットを取り付けます。(→ P.20)
③	電源入力端子	付属の電源ケーブルを接続します。(→ P.22)
④	カメラレンズ	映像を広角レンズで撮影します。
⑤	2nd カメラ接続端子	付属のケーブルを使って2ndカメラと接続します。(→ P.22)
⑥	SD スロットカバー (microSD カード スロット)	SDスロットカバーを外して、録画用の microSD カードを挿入します。(→ P.26) microSD カードスロットに microSD カードが挿入されていないと、本機は正常に動作しません。
⑦	LCD 画面	録画画面、再生画面、メニュー画面などを表示します。
⑧	マイク	録画中の音声を収録します。
⑨	LED インジケーター	本機の状態をお知らせします。 点灯 (緑) : 再生中、録画停止中、駐車録画待機中、メニュー表示中 交互点灯 (緑 / 橙) : 録画中
⑩	[/ /] (メニュー) ボタン	録画中に押す : メニューを表示します。 メニュー表示中に押す : キャンセル、戻る、または終了ボタンとして機能します。 再生中に押す : 戻るボタンとして機能します。 2 秒以上押し続けると電源をオフします。 もう一度押すと電源がオンになります。

各部の名称とはたらき

番号	名称	はたらき
⑪	(▲) ボタン	メニュー表示中に押す：カーソルを上に移動します。 再生中に押す：前のファイルを再生します。 再生中に押し続ける：早戻しします。ボタンを離すと再生に戻ります。
⑫	[📷](▼) ボタン	録画中に押す：写真を撮影します。(駐車録画中、メニュー表示中など、画面にカメラアイコンが表示されていないときは写真を撮影できません) (→ P.35) メニュー表示中に押す：カーソルを下に移動します。 再生中に押す：次のファイルを再生します。 再生中に押し続ける：早送りします。ボタンを離すと再生に戻ります。
⑬	[画面切替](決定) ボタン	録画中に押す：メインユニットと 2nd カメラの映像を切り替えます。(→ P.28) 録画中に押し続ける：画面表示をオフにします。もう一度押すと画面表示がオンになります。 メニュー表示中に押す：決定ボタンとして機能します。 再生中に押す：再生メニューを表示します。(→ P.39)
⑭	RESET ボタン	本機をリセット (再起動) します。(→ P.12) RESET ボタンを押しても、設定や録画・記録したファイルは消去されません。
⑮	(REC) ボタン	録画中に押す：イベント録画を開始します。(→ P.30)

2nd カメラ (車外後方撮影用)



番号	名称	はたらき
①	カメラレンズ	映像を広角レンズで撮影します。
②	メインユニット 接続端子	付属の車外後方撮影用カメラケーブルを使ってメインユニットと接続します。(→ P.22)

本機のボタン操作を禁止（ロック） / 解除する

使用者が本機の設定を変更できないようにボタン操作を禁止（ロック）することができます。

1. (▲) ボタンと[📷] (▼) ボタンを同時に5秒以上押し続ける

「ピッ」と音が鳴ります



2. 3秒以内に[画面切替]（決定）ボタンを押す



ボタン操作の禁止（ロック）に設定または解除したメッセージが表示されます。



各部の名称とはたらき

操作ボタンとアイコンについて

■ 操作ボタン

5つのボタンの機能を画面に表示されるアイコンで表しています。ボタンの機能は表示している画面によって異なります。

録画画面の一例：常時録画



- ① メニュー画面を表示します。
- ② 写真を撮影します。
- ③ メインユニットと2ndカメラの映像を切り替えます。(→ P.28)
- ④ 手でイベント記録を開始します。また、イベント記録中に (REC) ボタンを押すと、前の記録が終了後にさらに20秒録画することができます。

メニュー画面の一例



- ① 1つ前の画面に戻ります。
- ② カーソルを上移動します。
- ③ カーソルを下移動します。
- ④ 決定します。

カスタム文字設定画面



- ① 1つ前の画面に戻ります。
- ② カーソルを左に移動します。
- ③ カーソルを右に移動します。
- ④ 決定します。

設定方法については、49 ページをご覧ください。

■ アイコン

本機の動作状態をアイコンで表します。

常時録画画面



- ① 録画中に表示され、●(赤)が点滅します。
- ② 現在時刻を表示します。
- ③ 「音声記録設定」を「オフ」に設定したときに表示します。「オン」に設定したときは表示しません。
- ④ 「駐車モード設定」を「オン」に設定したときに表示します。
- ⑤ GPSの受信状態を示します。

アイコン	状態
	信号レベル: 3
	信号レベル: 2
	信号レベル: 1
	信号レベル: 0

- ⑥ 現在の車速を表示します。
距離単位はメートル (km/h) またはマイル (mph) から選択できますが、表示を消すことはできません。

取り付け / 配線のしかた

取り付け時のご注意

メインユニット / 2nd カメラ共通

- ・運転者の視界の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ・他の車載機器（安全支援システム用カメラや防眩ルームミラーなど）に影響を与えない位置に取り付けてください。詳しくは車両の取扱説明書を参照してください。
- ・運転やエアバッグ動作の妨げにならないように取り付けてください。
- ・車両のフロントガラスが、反射コーティングで着色されている場合、電波を伝えにくくなり、衛星受信に影響を与える可能性があります。
- ・取り付け後、車両電装品が正常に動くか、必ず動作確認を行ってください。
- ・取り付け後、カメラレンズの保護シートをはがしてください。(→ P.23)
- ・ケーブル類は運転操作の妨げにならないように市販のソフトテープなどでまとめてください。
- ・ケーブルの配線をラジオアンテナの付近で行うと、ラジオの受信感度が下がることがあります。
- ・本機や本機の電源配線を地上デジタルテレビ受信アンテナの近くや、電装品の近くに取り付けおよび配線をしないでください。テレビの受信感度の低下やちらつき、ノイズの原因になる可能性があります。

メインユニット

- ・フロントガラス全体の上部 20%の範囲内、または運転者の前方視界を妨げない位置（ルームミラーで隠れる位置）に取り付けてください。
- ・ルームミラーの操作の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ・車検証ラベルなどに重ならないように取り付けてください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲に入るように取り付けてください。ガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより、映像が見づらくなる場合があります。

2nd カメラ

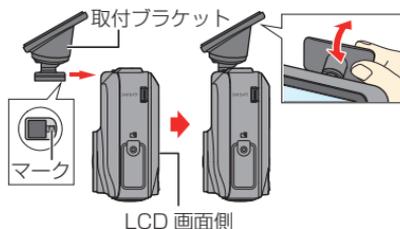
- ・直接リアガラスに取り付けてください。
- ・リアガラスに熱線がある場合は、熱線避けて取付ブラケットの接着面を貼り付けてください。
- ・ワイパーが装着されている場合、ワイパーの拭き取り範囲に入るように取り付けてください。ガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより、映像が見づらくなる場合があります。

メインユニットを取り付ける

1. 水平で安全な場所に車両を駐車する

2. 取付ブラケットをメインユニットのブラケット取り付け部に差し込む

フロントガラスに貼り付ける前に大まかな角度調整を行ってから取り付けてください。



- ・取り付け方向を間違えると、正しい角度でメインユニットを取り付けることができません。上の図のようにマークがLCD画面側になるように取付ブラケットをメインユニットに取り付けてください。

3. メインユニットの推奨取り付け位置 (→ P.24) を参考にしてメインユニットの取り付け位置を決める

4. 市販のクリーニングクロスなどで取り付け場所の汚れや脂分をきれいに拭き取る

5. 取付ブラケットの両面テープのはくり紙をはがし、フロントガラスに押しつけて取付ブラケットを貼り付ける

気泡が入らないように貼り付けてください。

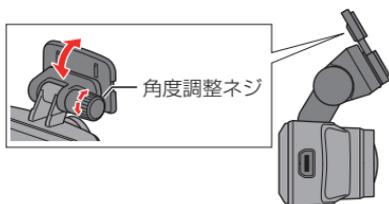


- 両面テープの取り付け強度を強くするため、取り付け後 24 時間以上放置してから使用してください。
- 一度はがした両面テープは再利用できません。

2nd カメラを取り付ける

1. リアガラスに貼り付ける前に角度調整ネジを緩めて、大まかな角度調整を行う

角度調整が終了した後は、緩めたネジを締め直してください。配線後に実際の映像を見ながら再調整してください。

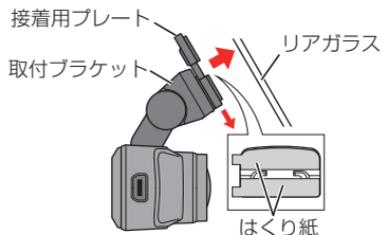


2. 2nd カメラの推奨取付位置 (→ P.25) を参考にして 2nd カメラの取り付け位置を決める

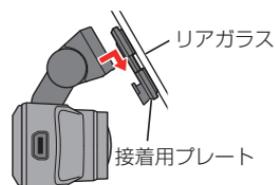
3. 市販のクリーニングクロスなどで取り付け場所の汚れや脂分をきれいに拭き取る

4. 取付ブラケットから接着用プレートを取り外し、両面テープのはくり紙をはがし、リアガラスに押しつけて貼り付ける

2nd カメラ用の取付ブラケットは、取り付け後に上下方向の角度調整はできますが、左右方向の角度調整はできませんので注意してください。



5. 取付ブラケットを接着用プレートに取り付ける



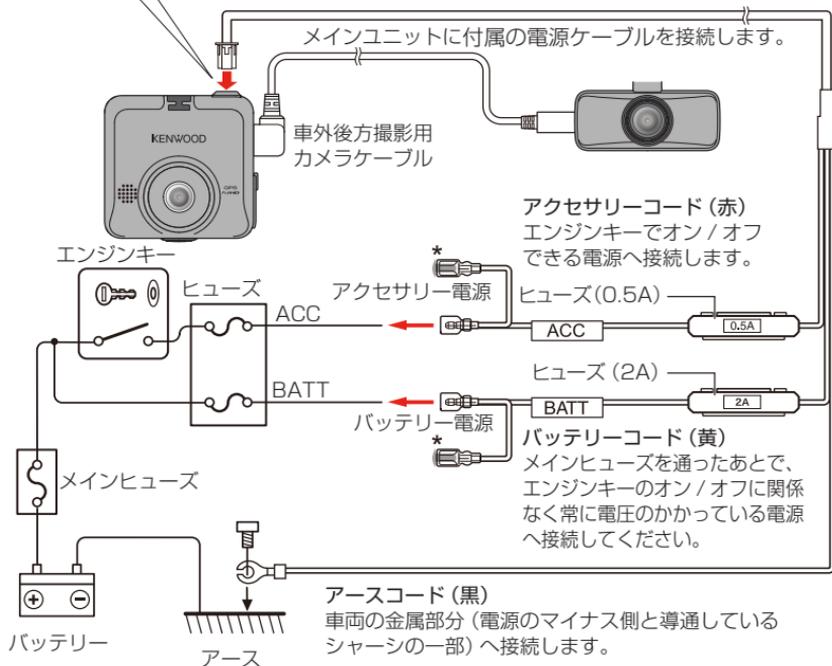
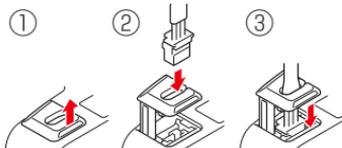
- 熱線に接着用プレートの両面テープを貼り付けしないでください。両面テープをはがす際、熱線を破損させるおそれがあります。
- 両面テープの取り付け強度を強くするため、取り付け後 24 時間以上放置してから使用してください。
- 一度はがした両面テープは再利用できません。

取り付け / 配線のしかた

接続する

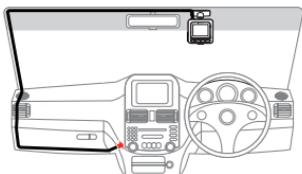
1. 付属の電源ケーブルを接続する

電源ケーブルの接続は、コネクタカバーの溝を持ち上げてカバーを開き①、コネクタを挿入して②、カバーを閉じます③。電源ケーブルを取り外すときは、コネクタのフックを押しなが取り外します。

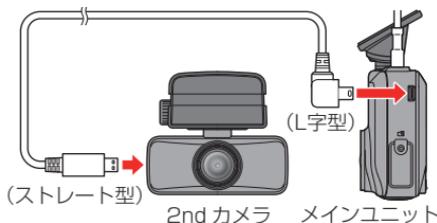


* アクセサリコード、バッテリーコードが接続できます。
接続しない場合はキャップを外さないでください。

2. 付属の電源ケーブルを配線する (→ P.24)

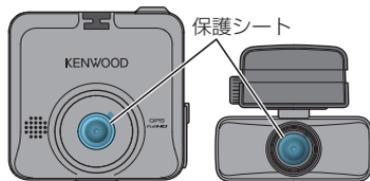


3. 付属の車外後方撮影用カメラケーブルで2ndカメラとメインユニットを接続し、配線する (→ P.25) コネクタの形状 (L字型 / ストレート型)を確認してください。



4. microSD カードを入れる (→ P.26)

5. カメラレンズの保護シートをはがす



6. エンジンスイッチを「オン」にする

7. [画面切替] (決定) ボタンを押して、メインユニットの映像に切り替える (→ P.28)

8. メインユニットの角度を調整する

地上と空の比率が約 5 対 5 になることを推奨します。



* 写真はイメージです

9. [画面切替] (決定) ボタンを押して、2nd カメラの映像に切り替える (→ P.28)

10. 画面を見ながら、2nd カメラの取り付け角度を再調整する



* 写真はイメージです

11. エンジンスイッチで電源を入れ直す

メインユニットの角度調整を行ったときは、必ずエンジンスイッチで電源を入れ直してください。調整した角度は電源が入ったときに記憶されます。

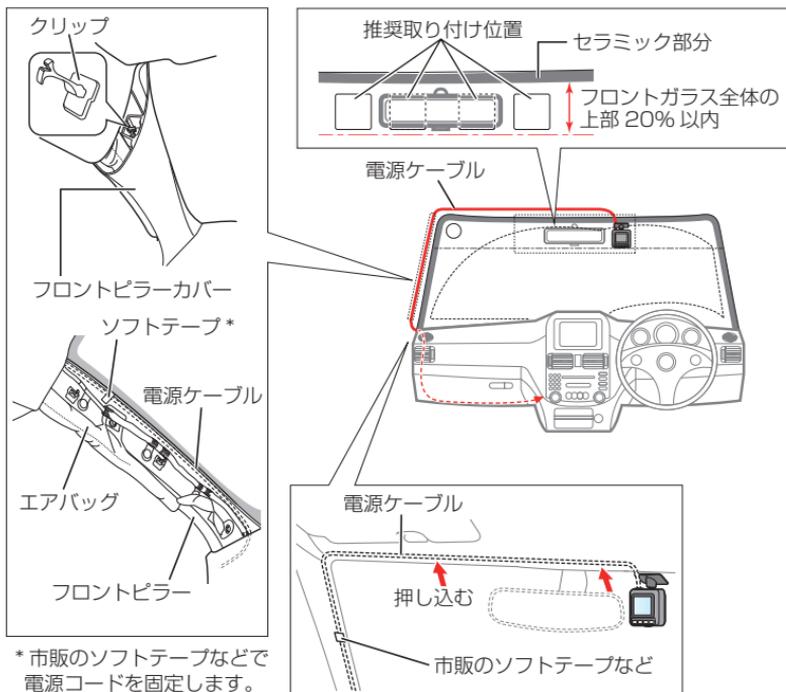
12. エンジンスイッチを「オフ」にする

取り付け / 配線のしかた

推奨取り付け位置

■ メインユニット

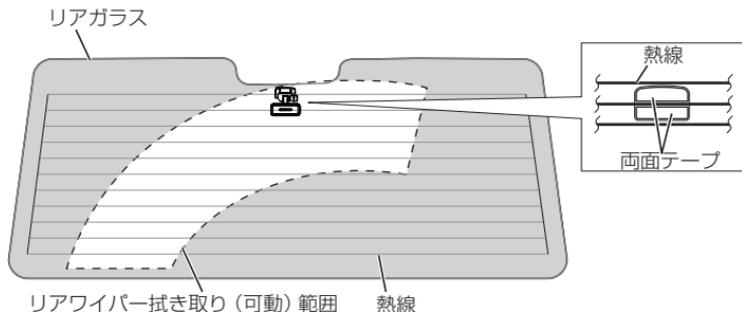
電源ケーブルの配線の引き直しを行ってください。



- 国土交通省の定める保安基準*に適合するように取り付けてください。
* 保安基準：道路運送車両の保安基準第 29 条（窓ガラス）
- ケーブル・コード類は運転やエアバッグ動作の妨げにならないように注意して取り付けてください。
- フロントピラーカバーが特殊クリップなどで固定されている車両の場合は、フロントピラーカバーを外すとクリップの交換が必要となる場合があります。フロントピラーカバーの外しかたや交換部品の有無など、詳しくは車両販売店にお問い合わせください。
- ケーブル・コード類は運転操作の妨げにならないように市販のソフトテープなどでまとめてください。
- 地デジや ETC 等のケーブル・コードといっしょに束ねないようにしてください。
- ケーブル・コードの配線をラジオアンテナの付近で行うと、ラジオの受信感度が下がることがあります。

■ 2nd カメラ

リアガラスに熱線がある場合は、熱線に取付ブラケットの両面テープを貼り付けしないでください。両面テープをはがす際、熱線を破損させるおそれがあります。取付ブラケットに貼られている両面テープには、熱線を避けるために隙間が設けられています。



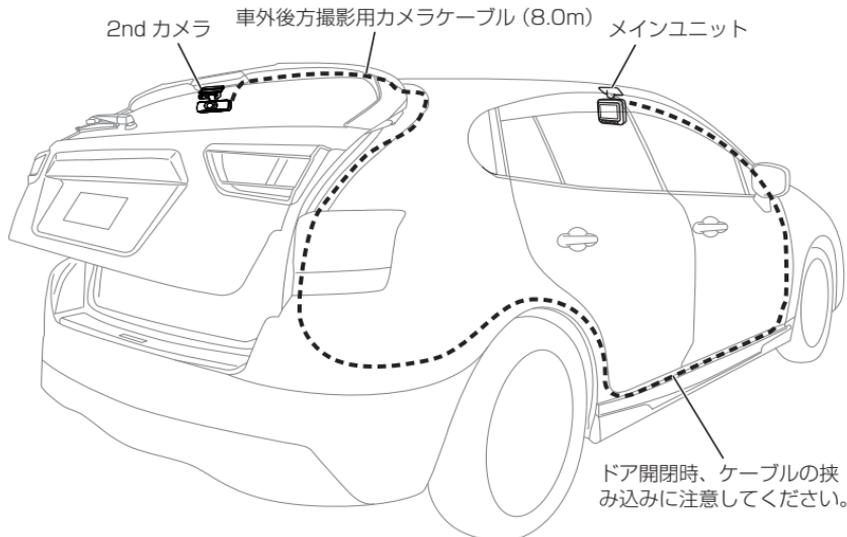
2nd カメラはリアガラス上部の車両中心となる位置への取付を推奨します。後方視界補助ミラー等により推奨位置に取り付けできない場合は、後方急接近警告機能が正しく動作しないため、後方急接近警告機能をオフにしてください。(→ P.47)



- リアガラスにフィルムが貼られている場合、フィルムの上から取り付けると、衝撃を受けた際にフィルムごと外れる可能性があります。本機を使用する場合は、フィルムを貼らないでください。

● ケーブルの引き回し例

ケーブルを引き回すときは、24 ページの注意事項もご覧ください。



ご使用の前に

ご使用の前に、角度調整ネジの緩み、両面テープのはがれなどが無いが、定期的に点検を行ってください。

運転の妨げや事故の原因となることがあります。

電源をオン / オフする

車両のエンジンスイッチを「ACC」または「オン」にすると、本機の電源がオンになり常時録画が始まります。エンジンスイッチを「オフ」にすると電源がオフになります（付属の電源ケーブルを使用した場合）。

● 本機の電源を手動でオフにする

本機の電源がオンのときに [ / ] (メニュー) ボタンを2秒以上押し続けると、電源がオフになります。

● 本機の電源を手動でオンにする

本機の電源がオフのときに [ / ] (メニュー) ボタンを押すと、電源がオンになります。

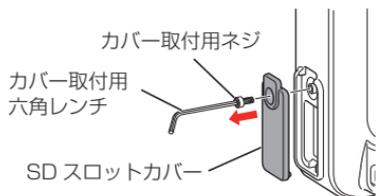
・エンジンスイッチがオフのときには手動で電源をオンにできません。



・駐車録画機能を使用の場合：
車両のエンジンスイッチをオフにする前に、本機の [ / ] (メニュー) ボタンで電源をオフにしたときは、駐車録画は動作しません。駐車録画機能を動作させるためには、必ず一旦エンジンスイッチをオンにして、本機が起動したことを確認してから再度エンジンスイッチをオフにしてください。

● microSD カードを入れる

① 付属のカバー取付用六角レンチでカバー取付用ネジを外し、SD スロットカバーを取り外します。



② microSD カードを microSD カードスロットにカチッと音がするまで挿入します。カードの向きに注意してください。



③ SD スロットカバーを取り付け、付属のカバー取付用六角レンチでカバー取付用ネジを締め付けます。

microSD カードを入れる / 取り出す

microSD カードを出し入れするときは、データの破損・消失防止のため、必ず以下の手順で「電源オフ」にした状態で行ってください。（駐車モード中は microSD カードを出し入れしないでください。）

1. 電源をオンにする

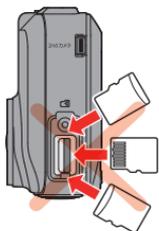
2. LED インジケーター (P.15 ⑨ 参照) が緑点灯または交互点灯 (緑 / 橙) して「本機が電源オン状態」であることを確認する

3. 電源を手動でオフにする

4. LED インジケーターが消灯状態であり「本機が電源オフ状態」であることを確認する

5. microSD カードを入れる / 取り出す

● 間違っただけか



斜めに挿入しない

端子面をレンズ側にしない

向きを間違えない



- microSD カードスロットに microSD カードが挿入されていないと、本機は正常に動作しません。

● microSD カードを取り出す

microSD カードを押して、microSD カードが少し飛び出したら引き抜きます。

microSD カードをフォーマットする

はじめて使用する microSD カード、また、パソコンなどで microSD カード内のファイルの変更や削除などをした microSD カードを挿入するときは、microSD カードのフォーマット（初期化）が必要です。

確認画面が表示されたら、[画面切替]（決定）ボタンを押し、フォーマット（初期化）を行ってください。



容量の大きい microSD カードをフォーマットする場合、処理に時間がかかる場合があります。

下記画面が表示されている間は、microSD カードを取り出したり、本機の電源をオフにしないでください。



録画する・写真を撮影する

本機には、電源オン時に「常時録画」、「イベント記録」、「イベント記録の手動録画」、「写真撮影」の録画機能があります。

車両のエンジン「オフ」時に「駐車録画」の機能があります。

音声を記録するかしないか、メニューの「音声記録設定」で選ぶこともできます。(→ P.47)

録画可能時間は録画モードの設定によって変わります。(→ P.49)

「明るさ」の設定で、撮影するときの映像の状態を前方・後方カメラごとに調整することもできます。(→ P.49)



- 録画モードの設定を変更するとき、microSD カードのフォーマットが必要になります。microSD カードのフォーマットを行うと、すべてのファイルが消去されるため、保存しておきたいファイルがある場合は、録画モードの設定を変更する前にファイルをパソコンなどに保存しておいてください。

メインユニットと 2nd カメラの映像を切り替える

[画面切替] (決定) ボタンを押すたびに映像は下記の順番で切り替わります。



2nd カメラが接続されていないとき、または 2nd カメラが認識されていないときは、ボタンガイドのアイコンが「」になっています。この表示のときは映像を切り替えることはできません。また、画面には「」が表示されます。

2nd カメラの映像について

- 録画時：左右反転している鏡像 (バックミラーと同じ) になります。
- 再生時：正像で再生します。

録画・撮影画面のアイコン



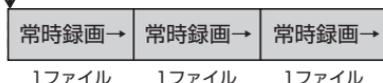
番号	表示	説明
①	● REC	録画中に表示され、●(赤)が点滅します。
②	時:分:秒	現在時刻を表示します。
③	音声記録 オフ	「音声記録設定」を「オフ」に設定したときに表示します。
④	P	「駐車モード設定」を「オン」に設定したときに表示します。
⑤	衛星受信 状態	GPSの受信状態を表示します。
⑥	km/h または mph	選択した距離単位(→ P.50)で、現在の車速を表示します。
⑦	ボタン ガイド	操作ボタンの機能を表示します。 📷:2ndカメラが接続されています。 📷:2ndカメラが接続されていません。
⑧	🍃 (緑色)	「エコドライブ表示設定」を「オン」に設定したときに表示します(走行中の加速時/減速時のG値を検知してアイコンが切り替わります)。
	🍂 (黄色)	
	🍁 (赤色)	
⑨	LEDインジ ケータ	点灯(緑):再生中、録画停止中、 駐車録画待機中、 メニュー表示中 交互点灯(緑/橙):録画中

常時録画

本機の電源がオンになると、常時録画を開始します。常時録画は1ファイルごとの録画時間に分割して録画し、microSDカードの録画領域がなくなると、古いファイルから上書きして常時録画を続けます。

1ファイルごとの録画時間は1分です。

電源オン



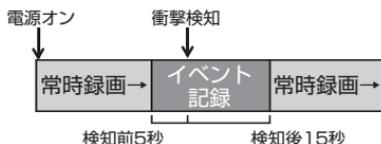
録画ファイルの保存場所

常時録画のファイルは、microSDカード内の「Video」フォルダに保存されます。(→ P.36)

録画する・写真を撮影する

イベント記録

常時録画中に突発的な衝撃や予期しない衝突などを検知してイベントを記録します。イベント記録が終了すると常時録画に戻ります。衝撃を検知した時点の常時録画ファイルがイベント記録ファイルとして保存されます(常時録画のファイルとしては残りません)。1ファイルの録画時間は最大20秒(衝撃検知前5秒と検知後15秒)です。イベント記録は手動での記録や、後方急接近検知でも記録することができます。



「イベント記録」が表示されます

録画ファイルの保存場所

イベント記録のファイルは、microSDカード内の「Event」フォルダに保存されます。(→ P.36)

衝撃を検知する感度	お買い上げ時は「4」に設定されています。設定については、「録画設定」の「イベント感度設定」をご覧ください。(→ P.49)
-----------	---



- ・イベント記録が記録されたとき、ファイルを保存しておきたい場合は上書きしないようにmicroSDカードをすぐに抜いてください。



- ・イベント記録が記録されたときは、イベント記録ファイルの後の常時録画ファイルにもイベント記録の映像が含まれていることがありますので、常時録画のファイルも必ずイベント記録ファイルと一緒に保存してください。
- ・「Event」フォルダに保存されたファイルが最大数に到達すると、「イベント記録フォルダがいっぱいです」と音声ガイドで通知されます。また、録画領域がなくなると、「イベント記録用の空き容量不足のため、ファイルの古い順で上書きをします。」が表示され、古いファイルから自動で上書きされます。必要なファイルがある場合はパソコンなどに保存してください。
- ・イベント記録中は、(REC) ボタン押下でのイベント記録延長と、[📷] (▼) ボタン押下での写真撮影以外の操作をすることはできません。

■ イベント記録を手動で開始する(手動録画)

常時録画中に (REC) ボタンを押すと、常時録画を中断してイベント記録を開始します。イベント記録が終了すると常時録画に戻ります。1ファイルの録画時間は最大20秒(ボタン押下前5秒と押下後15秒)です。イベント記録中に (REC) ボタンを押すと、前の記録が終了後にさらに別ファイルで20秒録画することができます。



「イベント記録」が表示されます



録画ファイルの保存場所

イベント記録の手动録画ファイルは、microSD カード内の「Event」フォルダに保存されます(→ P.36)。

保存したい映像が「Event」フォルダに含まれていない場合は、直後に作成された「Video」フォルダも確認してください。

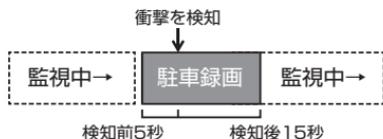


- 「Event」フォルダに保存されたファイルが最大数に到達すると、「イベント記録フォルダがいっぱいです」と音声ガイドで通知されます。また、録画領域がなくなると、「イベント記録用の空き容量不足のため、ファイルの古い順で上書きをします。」が表示され、古いファイルから自動で上書きされます。必要なファイルがある場合はパソコンなどに保存してください。

駐車録画

駐車録画機能を使用するには、本機の「駐車モード設定」、「電圧カットオフ値」、「オフタイマー設定」を行う必要があります(→ P.32)。

エンジンをオフにすると駐車録画機能が待機中になり、車両の衝撃を監視します。車両の衝撃を検知すると、駐車録画を開始します。駐車録画が終了すると、再び監視を開始します。駐車録画ファイルの録画時間は 20 秒間(検知前 5 秒間と検知後 15 秒間)です。



録画ファイルの保存場所

駐車録画のファイルは、microSD カード内の「Parking」フォルダに保存されます。(→ P.36)

駐車録画が記録されたとき

駐車録画が記録されると、エンジンスイッチをオンにしたときに「駐車録画があります」と音声で通知されます。



- 駐車モード中は電力消費を抑えるため、衛星受信を止めています。
- 駐車モード中は LCD 画面がオフになり、LED は緑色に点灯します。
- 乗り降りやドアを閉めたときなどに、振動を検知して駐車録画が開始することがあります。
- 車両のエンジンスイッチをオフにする前に、本機の[/] (メニュー) ボタンで電源をオフにしたときは、駐車録画は動作しません。
- 車両バッテリーの劣化などにより、電源電圧が 12.0V/24.0V に満たない場合、駐車録画は動作しません。
- 録画領域がなくなると「駐車録画フォルダがいっぱいです」と音声ガイドで通知され、録画ファイルは古いファイルから上書きされます。必要なファイルがある場合はパソコンなどに保存してください。
- 駐車モード中に下記の microSD カードに入れ替えた場合、駐車録画機能を停止します。
 - 本機でフォーマットをしていない microSD カード
 - ファイルの削除、追加、ファイル名の変更をした microSD カード
 - 記憶域の設定 / 録画モードの設定が違う microSD カード

録画する・写真を撮影する

駐車録画機能をオンにする

駐車録画機能をオンに設定するとき、途中で「記憶域の割り当て」の設定が必要になり、microSDカードのフォーマットを行います。保存したいファイルがあるときはパソコンなどにファイルを保存してから設定を行ってください。

1. [≡/■ 〇] (メニュー) ボタンを押す
メニューが表示されます。



2. (▲) ボタンまたは[○] (▼) ボタンで「駐車モード」を選択し、[画面切替] (決定) ボタンを押す



3. (▲) ボタンまたは[○] (▼) ボタンで「駐車モード設定」を選択し、[画面切替] (決定) ボタンを押す



4. (▲) ボタンまたは[○] (▼) ボタンで「オン」を選択し、[画面切替] (決定) ボタンを押す



5. 「駐車録画用の録画領域がありません。記憶域の割り当てを設定してください。」と表示されたら、[画面切替] (決定) ボタンを押す

6. (▲) ボタンまたは [📷] (▼) ボタンで設定を選択し、[画面切替] (決定) ボタンを押す

お買い上げ時は「4/4」に設定されています。記録時間および写真撮影枚数の目安は microSD カードの容量によって異なりますので、34 ページをご確認ください。
記録時間および写真撮影枚数は、撮影するシーンによっては少なくなる場合があります。

常時録画に容量を多く割り当てる (1/4)



イベント記録に容量を多く割り当てる (2/4)



駐車録画に容量を多く割り当てる (3/4)



駐車モードを使用しない (4/4)



• 「記憶域の割り当て」の設定変更は、メニューの「システム設定」→「記憶域の割り当て」から行います。(→ P.50)

• 割り当てを変更すると、microSD カードがフォーマットされるため、microSD カード内の録画ファイルが消去されます。設定を変更する前に必要な録画ファイルをパソコンなどに保存してから設定を変更してください。

7. 「SD カードをフォーマットします。全てのデータが消去されますが続けますか？」と表示されたら、[画面切替] (決定) ボタンを押す

フォーマットが開始され、「駐車モード」が「オン」に設定されます。



• 「駐車モード」の「駐車モード設定」、「電圧カットオフ値」、「オフタイマー設定」、「衝撃検出感度設定」で設定変更することができます。(→ P.48)

録画する・写真を撮影する

● 録画時間の目安

記録時間はメインユニットと 2nd カメラで同時に撮影したときの時間です。

記憶域の割り当て	microSD カード容量	録画モード	常時録画	イベント記録	駐車録画	写真	
1/4 常時録画に容量を多く割り当てる	16GB	標準	約 35 分	約 4 分	約 4 分	約 15 枚	
		長時間 1	約 71 分	約 8 分	約 8 分	約 15 枚	
		長時間 2	約 285 分	約 32 分	約 32 分	約 15 枚	
	32GB	標準	約 70 分	約 8 分	約 8 分	約 30 枚	
		長時間 1	約 140 分	約 16 分	約 16 分	約 30 枚	
		長時間 2	約 562 分	約 64 分	約 64 分	約 30 枚	
	64GB	標準	約 142 分	約 16 分	約 16 分	約 61 枚	
		長時間 1	約 285 分	約 32 分	約 32 分	約 61 枚	
		長時間 2	約 1143 分	約 130 分	約 130 分	約 61 枚	
	128GB	標準	約 285 分	約 32 分	約 32 分	約 122 枚	
		長時間 1	約 571 分	約 65 分	約 65 分	約 122 枚	
		長時間 2	約 2287 分	約 261 分	約 261 分	約 122 枚	
2/4 イベント記録に容量を多く割り当てる	16GB	標準	約 31 分	約 8 分	約 4 分	約 15 枚	
		長時間 1	約 63 分	約 16 分	約 8 分	約 15 枚	
		長時間 2	約 253 分	約 65 分	約 32 分	約 15 枚	
	32GB	標準	約 62 分	約 16 分	約 8 分	約 30 枚	
		長時間 1	約 124 分	約 32 分	約 16 分	約 30 枚	
		長時間 2	約 498 分	約 128 分	約 64 分	約 30 枚	
	64GB	標準	約 126 分	約 32 分	約 16 分	約 61 枚	
		長時間 1	約 253 分	約 65 分	約 32 分	約 61 枚	
		長時間 2	約 1012 分	約 261 分	約 130 分	約 61 枚	
	128GB	標準	約 253 分	約 65 分	約 32 分	約 122 枚	
		長時間 1	約 506 分	約 130 分	約 65 分	約 122 枚	
		長時間 2	約 2025 分	約 522 分	約 261 分	約 122 枚	
3/4 駐車録画に容量を多く割り当てる	16GB	標準	約 29 分	約 4 分	約 10 分	約 15 枚	
		長時間 1	約 59 分	約 8 分	約 20 分	約 15 枚	
		長時間 2	約 236 分	約 32 分	約 82 分	約 15 枚	
	32GB	標準	約 58 分	約 8 分	約 20 分	約 30 枚	
		長時間 1	約 116 分	約 16 分	約 40 分	約 30 枚	
		長時間 2	約 466 分	約 64 分	約 160 分	約 30 枚	
	64GB	標準	約 118 分	約 16 分	約 40 分	約 61 枚	
		長時間 1	約 235 分	約 32 分	約 81 分	約 61 枚	
		長時間 2	約 947 分	約 130 分	約 326 分	約 61 枚	
	128GB	標準	約 236 分	約 32 分	約 81 分	約 122 枚	
		長時間 1	約 473 分	約 65 分	約 163 分	約 122 枚	
		長時間 2	約 1895 分	約 261 分	約 653 分	約 122 枚	
4/4 駐車モードを使用しない (お買い上げ時の設定)	16GB	標準	約 39 分	約 4 分	駐車録画の記録領域はありません。	約 15 枚	
		長時間 1	約 79 分	約 8 分		約 15 枚	
		長時間 2	約 318 分	約 32 分		約 15 枚	
	32GB	標準	約 78 分	約 8 分		約 30 枚	
		長時間 1	約 156 分	約 16 分		約 30 枚	
		長時間 2	約 627 分	約 64 分		約 30 枚	
	64GB	標準	約 159 分	約 16 分		約 61 枚	
		長時間 1	約 318 分	約 32 分		約 61 枚	
		長時間 2	約 1274 分	約 130 分		約 61 枚	
	128GB	標準	約 318 分	約 32 分		駐車録画の記録領域はありません。	約 122 枚
		長時間 1	約 637 分	約 65 分			約 122 枚
		長時間 2	約 2548 分	約 261 分			約 122 枚

* 常時録画の記録可能時間は microSD カードの残り容量で変わります。

写真を撮影する（静止画記録）

録画中に [📷] (▼) ボタンを押すと、写真を撮影します。

記録領域がなくなると、古いファイルから自動で上書きされます。



写真の保存場所

写真は、microSD カード内の「Photo」フォルダに保存されます。(→ P.36)



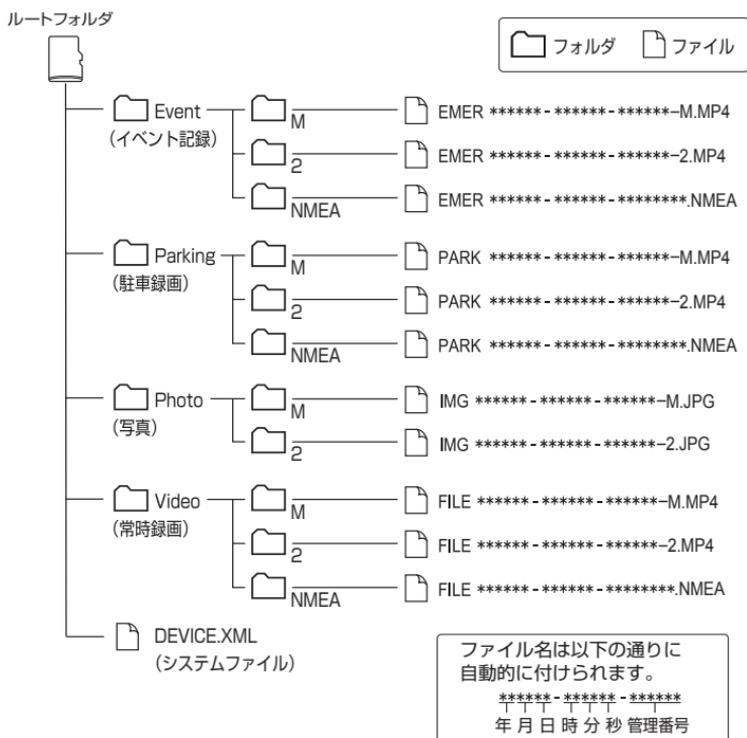
- 録画中に写真を撮影しても録画は中断されません。
- メニュー表示中、駐車録画中などカメラアイコンが表示されていないときには写真を撮影できません。

フォルダ / ファイル構成

microSD カードに録画または記録したファイルは、項目ごとのフォルダに保存されます。microSD カード内にあるファイル名をパソコンなどで変更しないでください。本機や KENWOOD ROUTE WATCHER II で正しくファイルを再生できなくなります。システムファイルには位置情報などが含まれています。システムファイルだけを削除するとファイルの位置情報が使用できなくなります。

microSD カード内のファイルにパソコンなどで以下の操作をした microSD カードを本機に挿入すると、microSD カードのフォーマット（初期化）が必要になります。

- ・ファイルの削除
- ・ファイルの追加
- ・ファイル名の変更



● ファイル名の表記について

- ・GPS が正しく受信できないときのファイル名は GPS を最後に受信したときの日付と時間に近い表示になります。
- ・ファイル名の「-M」はメインユニットで録画したファイル、「-2」は 2nd カメラで録画したファイルです。

再生する

ファイル選択画面のアイコン

再生時の2ndカメラ映像は、録画中の画面表示と異なり正像で再生されます。



番号	表示	説明
①	録画の種類	録画の種類を表示します。
②	ファイルの順番 / ファイル総数	録画ファイルの最新ファイルからの順番 / ファイル総数を表示します。
③	年 / 月 / 日 時 : 分 : 秒	録画日時を表示します。
④		メインユニットと2ndカメラの2つの映像が録画されています。
⑤	ボタンガイド	操作ボタンの機能を表示します。
⑥		イベント記録のファイル

ファイルを再生する

録画ファイルや写真ファイルなどのファイルを選択して再生します。

1. (メニュー) ボタンを押す
メニューが表示されます。



2. (▲) ボタンまたは (▼) ボタンで「ファイル再生」を選択し、[画面切替] (決定) ボタンを押す



再生する

3. (▲) ボタンまたは[📷] (▼) ボタンで再生したいフォルダを選択し、[画面切替] (決定) ボタンを押す



それぞれのフォルダには以下のファイルが保存されています。

常時録画	常時録画されたファイル
イベント記録	イベント記録されたファイル、手動で録画されたイベント記録のファイル、後方急接近警告で録画されたファイル
駐車録画	駐車録画されたファイル
写真	撮影した写真 (静止画記録) のファイル

選択したフォルダ内にある最新のファイルがサムネイル表示されます。



- ファイルは、録画または撮影した時間順に並びます。

4. (▲) ボタンまたは[📷] (▼) ボタンで再生したいファイルを選択し、[画面切替] (決定) ボタンを押す
選択したファイルの再生が始まります。



再生中に他のファイルを選択する	(▲) ボタンを押すと前のファイルを、[📷] (▼) ボタンを押すと次のファイルを再生します。
早戻し / 早送り	(▲) ボタンを2秒以上押し続けると、早戻しします。 [📷] (▼) ボタンを2秒以上押し続けると、早送りします。 ボタンを離すと、再生に戻ります。

再生メニューの操作

1. ファイルの再生中に[画面切替] (決定) ボタンを押す

再生メニューが表示されます。



2. (▲) ボタンまたは[決定] (▼) ボタンで操作したい項目を選択し、[画面切替] (決定) ボタンを押す



再生メニューでは以下の操作ができます。

再生 / 一時停止	[画面切替] (決定) ボタンを押すと表示中のファイルを再生 / 一時停止します。 ※「写真」ファイルの再生中は表示されません。
2nd カメラ映像再生 / メインカメラ映像再生	[画面切替] (決定) ボタンを押すとメインユニットと 2nd カメラの映像を切り替えます。 ※ 2nd カメラを接続しないで録画したファイルの場合は表示されません。
2nd カメラ写真再生 / メインカメラ写真再生 (写真ファイル再生時)	
削除	[画面切替] (決定) ボタンを押すと「削除しますか？」と表示されます。もう 1 度 [画面切替] (決定) ボタンを押すと表示中のファイルが削除されます。

ファイル再生中は、映像または静止画面上にファイルの順番 / ファイルの総数を表示します。



運転支援機能を使う

本機のメインユニットには6つの運転支援機能があります。運転支援機能を使用するには、各機能の設定を「オン」に変更する必要があります。(→ P.43)

機能/画面表示	機能説明
発進遅れ警告 * 	信号などで停車中に前方車両が発進して離れてしまったときに約 1 秒後に警告音を鳴らして、画面にアイコンを表示します。 交差点などで先頭に停車した場合、前方を横切る人や車両に反応する場合があります。
車線逸脱警告 * 	走行中の車線を逸脱したときに警告音を鳴らし、画面にアイコンを表示します。 60km/h 以上で走行中に動作します。速度が 60km/h 未満のとき、逆光、雨天、走行レーンの汚れなど、条件によっては正しく動作しません。
前方衝突警告 * 	走行中に前方車両と約 5km/h 以上の速度差がある状態で接近した場合、警告音を鳴らして画面にアイコンを表示します。
後方急接近警告 	走行中に後方 5m 以内に 3 秒以上車両が接近したことを検出すると、警告音を鳴らし画面にアイコンを表示します。 動作速度は 30km/h、50km/h、70km/h から選択できます。 逆光、夜間、悪天候など、条件によっては正しく動作しません。設定で警告時にイベント記録をすることもできます。
リフレッシュ通知 * 	録画開始から設定した時間 (2 時間 / 3 時間 / 4 時間) になると音声で「長時間の運転が続いています。そろそろ休憩しませんか？」と通知して、画面にアイコンを表示します。 録画開始からの時間をカウントしているため、録画を中止するとカウントはリセットされます。
エコドライブ表示設定 	走行中の加速 / 減速による G 値を検知して、3 段階でエコ運転診断を行い、画面に 3 色の葉の形をしたアイコンを表示します。 緑色：エコドライブ状態 黄色：普通の走行状態 赤色：加速 / 減速が激しい場合

* 警告音 / 音声の音量を調整したいときは「システム設定」の「音量設定」で調整してください。(→ P.50)



- 「発進遅れ警告」「車線逸脱警告」「前方衝突警告」(前方カメラを使用する機能)を使用する場合は、「後方急接近警告」(後方カメラを使用する機能)は使用できません。また、「後方急接近警告」を使用する場合は、「発進遅れ警告」「車線逸脱警告」「前方衝突警告」は使用できません。
- 「録画モード」を「長時間 1」または「長時間 2」に設定 (→ P.49) している場合、「発進遅れ警告」「車線逸脱警告」「前方衝突警告」「後方急接近警告」は使用できません。

運転支援機能についてのご注意

- ・車両を平らで見通しの良いところに駐車して、カメラの角度と向きを必ず調整してください。また、カメラの位置がずれると、運転支援機能は正しく動作しません。調整後はカメラをしっかりと固定してください。
- ・運転中にドライバーが調整することは絶対にししないでください。安全な場所に停車して調整するか、同乗者が調整するようにしてください。
- ・運転支援機能はドライバーの運転をサポートするもので、事故を未然に防ぐものではありません。また、すべての危険を警報するものではありません。
- ・運転時は交通ルールを守り、前方車両との車間距離や周囲の状況、運転環境に注意し、必要に応じてブレーキをかけるなど安全運転に努めてください。また、本機の取扱説明書に従って正しく使用していた場合でも、動作を完全に保証するものではありません。万が一、それに伴う損失が発生しても当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ・車線逸脱警告はウィンカーと連動しないため、本機の仕様上、道路で車線を変更するときにも警告音が鳴ります。
- ・以下のような場合は、運転支援機能が正しく動作しない場合があります。
 - 舗装の劣化や降雨時の反射、建物の影などにより車線が正しく認識できない場合。
 - 前方車両の形状や色、光の加減などによって認識できない場合。
 - 天候（雨・雪・濃霧・ワイパーの使用など）、時間帯（朝方・夕方・夜間など）、逆光、交通状況（渋滞・歩行者など）による変化。
 - フロントガラスに映り込みがあると正しく動作しないことがあります。ダッシュボードに物などを置かないでください。

メインユニットのカメラ位置とボンネット位置を調整する

「車線逸脱警告」、「前方衝突警告」、「発進遅れ警告」を使用する場合は、「カメラ位置調整」の設定が必要です。

1. 見通しの良い、平らで安全な場所に車両を停車する
2. [≡/■○] (メニュー) ボタンを押す
メニューが表示されます。



3. (▲) ボタンまたは[■○] (▼) ボタンで「運転支援機能設定」を選択し、[画面切替] (決定) ボタンを押す



運転支援機能を使う

4. (▲) ボタンまたは[📷] (▼) ボタンで「カメラ位置調整」を選択し、[画面切替] (決定) ボタンを押す



5. (▲) ボタンまたは[📷] (▼) ボタンで「前方」を選択し、[画面切替] (決定) ボタンを押す



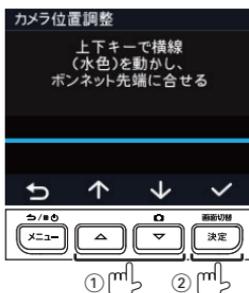
6. メインユニットのカメラ位置を合わせて、[画面切替] (決定) ボタンを押す

メインユニットを上下に傾けて、赤線を道の先端 (地平線) に合わせます。メインユニットを左右に動かして、緑線を走行車線の中心に合わせます。



7. ボンネット位置を合わせて、[画面切替] (決定) ボタンを押す

(▲) ボタンまたは [📷] (▼) ボタンで横線 (水色) をボンネットの先端に合わせます。



・ボンネットが見えない場合は、停車時に前方約 3 m 先の路面に横線 (水色) が合うように調整してください。

メインユニットのカメラ位置とボンネット位置の調整が完了します。

2nd カメラのカメラ位置を調整する

「後方急接近警告」を使用する場合は、「カメラ位置調整」の設定が必要です。



- ・「カメラ位置調整」を設定しないと、運転支援機能が正しく動作しません。

1. 見通しの良い、平らで安全な場所に車両を停車する
2. [≡/■○] (メニュー) ボタンを押す
メニューが表示されます。



3. (▲) ボタンまたは[📷] (▼) ボタンで「運転支援機能設定」を選択し、[画面切替] (決定) ボタンを押す



4. (▲) ボタンまたは[📷] (▼) ボタンで「カメラ位置調整」を選択し、[画面切替] (決定) ボタンを押す



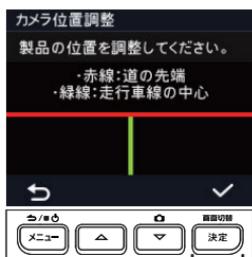
5. (▲) ボタンまたは[📷] (▼) ボタンで「後方」を選択し、[画面切替] (決定) ボタンを押す



運転支援機能を使う

6. 2ndカメラのカメラ位置を合わせて、 [画面切替] (決定) ボタンを押す

2ndカメラを上下に傾けて、赤線を道の先端
先端(地平線)に合わせます。



2ndカメラのカメラ位置の調整が完了します。

運転支援機能をオン / オフする

1. [メニュー] (メニュー) ボタンを押す メニューが表示されます。



2. (▲) ボタンまたは[画面切替] (▼) ボタン で「運転支援機能設定」を選択し、 [画面切替] (決定) ボタンを押す



3. (▲) ボタンまたは[☑] (▼) ボタンでオンにしたい運転支援機能を選択し、[画面切替] (決定) ボタンを押す



4. (▲) ボタンまたは[☑] (▼) ボタンで「オン」を選択し、[画面切替] (決定) ボタンを押す

運転支援機能の設定が完了します。



- ・リフレッシュ通知機能をオンにするときは、「2 時間」、「3 時間」、「4 時間」のいずれかを選びます。
- ・リフレッシュ通知機能のタイマーカウントは、メニューを表示するなど、常時録画が停止した場合、リセットされます。

5. 他の機能を設定する場合は、手順 3 と 4 を繰り返す



- ・運転支援機能を使用する際、「発進遅れ警告」「車線逸脱警告」「前方衝突警告」(前方カメラを使用する機能)をオンにすると「後方急接近警告」(後方カメラを使用する機能)は自動的にオフになります。また、「後方急接近警告」をオンにすると「発進遅れ警告」「車線逸脱警告」「前方衝突警告」は自動的にオンになります。

設定を変更する

各機能の設定を変更する

本機の設定を変更することができます。

1. [ /  / ] (メニュー) ボタンを押す
メニューが表示されます。



2. (▲) ボタンまたは [] (▼) ボタンで設定を変更したいメニューを選択し、[画面切替] (決定) ボタンを押す

選択したメニューが表示されます。



3. (▲) ボタンまたは [] (▼) ボタンで設定を変更したい項目を選択し、[画面切替] (決定) ボタンを押す
選択した項目が表示されます。



4. (▲) ボタンまたは [] (▼) ボタンで設定を選択し、[画面切替] (決定) ボタンを押す
設定が変更されます。



各項目の内容については、「メニューの一覧」をご覧ください。(→ P.47)



- ・ 常時録画に戻るには、[ /  / ] (メニュー) ボタンを録画画面になるまで押します。
- ・ メニュー画面のまま 1 分間操作をしないと常時録画に切り替わります。

メニューの一覧

*お買い上げ時の設定

■ ファイル再生

項目	設定	説明
常時録画	-	フォルダを選択して目的のファイルを再生します。また、ファイル再生中には、メインユニットの映像と2ndカメラの映像の切り替え、削除などを行うことができます(→ P.39)。
イベント記録		
駐車録画		
写真		

■ 音声記録設定

項目	設定	説明
音声記録設定	オン* オフ	録画時の音声記録機能の設定をします。

■ 運転支援機能設定

項目	設定	説明
カメラ位置調整	-	
前方	-	運転支援機能を正しく機能させるためにメインユニットの位置を調整します。(→ P.41)
後方	-	運転支援機能を正しく機能させるために2ndカメラの位置を調整します。(→ P.43)
発進遅れ警告	オン オフ*	停車時に前方車両が発進して離れてしまったときに警告音と警告表示でお知らせする機能を設定します。
車線逸脱警告	オン オフ*	走行中に車線を逸脱したときに警告音と警告表示でお知らせする機能を設定します。
前方衝突警告	オン オフ*	走行中、前方車両に接近したときに警告音と警告表示でお知らせする機能を設定します。
後方急接近警告	オン(警告のみ) オン(警告と録画) オフ*	後方車両が異常に接近してきたときに警告音と警告表示でお知らせする機能、およびイベント記録を開始する機能を設定します。
後方急接近警告速度	30km/h 50km/h* 70km/h	後方急接近警告を「オン」に設定したときに設定できます。
リフレッシュ通知	2 時間 3 時間 4 時間 オフ*	設定された時間毎に音声と表示(アイコン)でお知らせします。

設定を変更する

項目	設定	説明
エコドライブ表示設定	オン オフ*	走行時のG値を検知して、3段階でエコ運転診断を行い、3色（緑色、黄色、赤色）のアイコンでお知らせする機能を設定します。



- ・運転支援機能を使用する際、「発進遅れ警告」「車線逸脱警告」「前方衝突警告」（前方カメラを使用する機能）をオンすると「後方急接近警告」（後方カメラを使用する機能）は自動的にオフになります。また、「後方急接近警告」をオンすると「発進遅れ警告」「車線逸脱警告」「前方衝突警告」は自動的にオフになります。

■ 駐車モード

「駐車モード設定」を「オン」にすると、「電圧カットオフ値」、「オフタイマー設定」、「衝撃検出感度設定」の設定ができます。

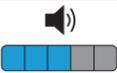
項目	設定	説明	
駐車モード設定	オン オフ*	駐車モード機能を設定します。	
電圧カットオフ値	12V車	12.0V* 12.2V 12.4V 12.6V	車両のバッテリー電圧が設定したカットオフ電圧値より下がった場合に、ドライブレコーダーの電源をオフにする設定値です。 使用環境や車両の状態によって、設定電圧値は±2%程度の誤差が生じます。
	24V車	24.0V* 24.4V 24.8V 25.2V	
オフタイマー設定	6時間* 12時間 24時間	エンジンを切った後、設定した時間でドライブレコーダーの電源をオフにする設定値です。 設定時間より前に電圧カットオフ設定値よりも電圧が下がった場合、電圧値を優先してドライブレコーダーの電源をオフにします。 タイマーは±10%程度の誤差が生じます。	
衝撃検出感度設定	低 普通* 高	駐車モードのときに本機に加わる衝撃の感度：「低」（G値：0.4G）～「高」（G値：0.2G）を設定します。 低（検知しにくい） ↔ 高（検知しやすい）	

■ 録画設定

項目	設定	説明
録画モード	標準 * 長時間 1 長時間 2	録画時間を変更します。設定により、長時間の録画が可能になります。 録画時間の目安については、34 ページをご覧ください。 ※変更するとフォーマットされ、すべてのデータが消去されます。 ※「長時間 1」または「長時間 2」を選択すると、映像の動きがごちかなくなります。 また、運転支援機能の「カメラ位置調整」「発進遅れ警告」「車線逸脱警告」「前方衝突警告」「後方急接近警告」が使用できなくなります。
明るさ		
前方	-1..0*..1	前方録画映像の露出(明るさ)レベルを選択することができます(マイナス:暗⇔プラス:明)。 ※映像が暗い場合はプラス方向に調整してください。逆に映像が白飛びする場合はマイナス方向に調整してください。
後方	-1..0*..1	後方録画映像の露出(明るさ)レベルを選択することができます(マイナス:暗⇔プラス:明)。 ※スモークガラスなどにより映像が暗い場合はプラス方向に調整してください。逆に映像が白飛びする場合はマイナス方向に調整してください。
イベント感度設定	 低 高	イベント記録の衝撃検知の感度:「低」(G 値:3.0G) ~ 「高」(G 値:0.5G)を設定します。 低(検知しにくい) ↔ 高(検知しやすい)
情報記録設定	緯度 / 経度 * G センサー値	録画ファイルに記録する情報(緯度 / 経度または G センサー値)を選択します。 記録された情報を削除することはできません。
速度情報表示	オン * オフ	記録ファイルに書き込む速度情報表示の設定をします。
カスタム文字設定	—	映像の右下に記録される文字を設定できます。文字数は最大で 12 文字です。 (▲) ボタン / (●) (▼) ボタン : カーソルが左右に 1 文字ずつ移動します。 [画面切替] (決定) ボタン : 選択中の文字を入力文字として確定します。 「OK」を選んで [画面切替] (決定) ボタンを押して終了します。

設定を変更する

■ システム設定

項目	設定	説明
衛星受信状態	—	衛星信号の受信状態を表示します。
日付 / 時刻設定	自動 (衛星データ) * 手動	「自動 (衛星データ)」の場合は「タイムゾーン」が「GMT+09 : 00」に設定されています。そのままの設定でご使用ください。 「手動」は日付と時刻を手動で設定できます。 (▲) ボタン / [OK] (▼) ボタンで数値を変更して [画面切替] (決定) ボタンで確定します。
システム音設定	オン * オフ	警告音およびボタン操作時の操作音を設定します。
音量設定		録画ファイルを再生するときの音量レベルを 5 段階 (消音 / 1 ~ 5) で設定します。 警告音およびボタン操作時の操作音も変更されます。
LCD 表示時間設定	常時表示 * 情報表示 10 秒 1 分 3 分	常時録画の画面表示がオフになるまでの時間を設定します。 画面表示をオンにするには、本機のいずれかのボタンを押します。 「情報表示」は常時表示されます。
言語	English 日本語 *	表示する言語を設定します。 ※「English」に設定すると、音声ガイドも英語になります。
距離単位	メートル * マイル	速度の単位を設定します。
記憶域の割り当て	1 / 4 2 / 4 3 / 4 4 / 4 *	常時録画 / イベント記録 / 駐車録画 / 写真を保存するための記憶領域を設定します。(→ P.34) 必要な録画ファイルが保存されている場合は、パソコンなどに保存してから設定を変更してください。 ※変更するとフォーマットされ、すべてのデータが消去されます。
初期値に戻す	—	メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻します。 必要な録画ファイルが保存されている場合は、パソコンなどに保存してから操作してください。 ※実行するとフォーマットされ、すべてのデータが消去されます。
バージョン	—	ファームウェアのバージョンを表示します。

■ SD カード

項目	設定	説明
SD カード情報	—	microSD カード情報画面を表示します。
フォーマット	—	microSD カードをフォーマットします。 ※実行するとフォーマットされ、すべてのファイルが消去されます。(→ P.53) 必要な録画ファイルが保存されている場合は、パソコンなどに保存してから操作してください。



- microSD カードの書き換え寿命状態は、本機に付属の microSD カードおよび当社推奨（当社製寿命告知機能対応）microSD カード使用時のみ表示します。
- microSD カードの書き換え寿命状態は 4 種類の表示があります。
正常（SD カードの状態は、良好です。）
注意（SD カードの書き換え寿命が近づいています。新しい SD カードへの交換を推奨します。）
警告（SD カードの書き換え寿命に到達しました。新しい SD カードへ交換してください。）
不明（推奨外の SD カードです。状態は不明です。）
- フォーマットを実行するとフォーマットされ、すべてのファイルが消去されます。
(→ P.53)
必要な録画ファイルが保存されている場合は、パソコンなどに保存してから操作してください。

設定を変更する

LCD 表示時間の設定を変更する

LCD 表示時間の設定は「常時表示」、「情報表示」、「10 秒」、「1 分」、「3 分」の 5 つから選択できます。

お買い上げ時は「常時表示」に設定されています。

1. [左/右/上/下] (メニュー) ボタンを押す
メニューが表示されます。



2. (▲) ボタンまたは[右] (▼) ボタンで「システム設定」を選択し、[画面切替] (決定) ボタンを押す



3. (▲) ボタンまたは[右] (▼) ボタンで「LCD 表示時間設定」を選択し、[画面切替] (決定) ボタンを押す



4. (▲) ボタンまたは[右] (▼) ボタンで設定したい時間を選択し、[画面切替] (決定) ボタンを押す

LCD 表示時間の設定が変更されます。



● 情報表示画面

「情報表示」に設定した場合、常時録画は 10 秒後、イベント記録は録画終了から 10 秒後に情報表示画面に切り替わります。



番号	表示	説明
①	● REC	録画アイコン（録画中、アイコンが点滅します）
②	年 / 月 / 日	カレンダーを表示します
③	時 : 分 : 秒	現在時刻を表示します
④	🌿 (緑色)	「エコドライブ表示設定」を「オン」にしていると、アイコンを表示します（走行中の加速時 / 減速時の G 値を検知してアイコンの色が切り替わります）
	🍂 (黄色)	
	🍁 (赤色)	
⑤	km/h または mph	現在の速度を表示します

microSD カードをフォーマットする

microSD カードのフォーマットを行うと、すべてのファイルが消去されるため、保存しておきたいファイルがある場合はフォーマットする前にファイルをパソコンなどに保存しておいてください。

1. [⏪/■/⏩] (メニュー) ボタンを押す
メニューが表示されます。



2. (▲) ボタンまたは[🗑️] (▼) ボタンで「SD カード」を選択し、[画面切替] (決定) ボタンを押す



設定を変更する

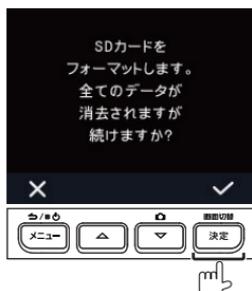
3. (▲) ボタンまたは[] (▼) ボタンで「フォーマット」を選択し、[画面切替] (決定) ボタンを押す



- フォーマットしても microSD カードエラーが表示され続ける場合は、新しい microSD カードと交換してください。
- microSD カードの抜き差しは電源が「オフ」の状態で行ってください。詳しくは「microSD カードを入れる / 取り出す」(→ P.26) をご覧ください。

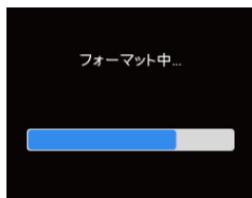
4. [画面切替] (決定) ボタンを押す

microSD カードがフォーマットされます。



容量の大きい microSD カードをフォーマットする場合、処理に時間がかかる場合があります。

下記画面が表示されている間は、microSD カードを取り出したり、本機の電源をオフにしないでください。



パソコンツールを使う

ビューアソフト (KENWOOD ROUTE WATCHER II) は、本機で録画した映像を表示するためのパソコンツールです。

インストールする

インストールをするときはパソコン環境を「管理者権限」にしてインストールしてください。対応 OS 等の詳細は <https://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/> をご覧ください。なお、本機ご購入時点に対応している OS であっても、今後の Windows/Mac の OS 更新に伴い、対応外となる場合があります。

1. <https://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/> で型名を選んでインストーラーをダウンロードする
2. パソコンにインストールする

録画ファイルの再生

1. microSD カードを本機から取り出し、カードリーダー（市販品）を使用してパソコンに接続する
2. KENWOOD ROUTE WATCHER II を起動する



・KENWOOD ROUTE WATCHER II の使いかたについては、KENWOOD ROUTE WATCHER II の取扱説明書をご覧ください。

故障かな？と思ったら

次の一覧から該当する症状、または表示されるメッセージを見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店または当社サービス窓口へご相談ください。

● FAQ (よくあるご質問)

当社のホームページでは、本機についてのお問い合わせの内容を掲載しています。

「故障かな？と思ったら」と合わせてこちらもお覧ください。

<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/faq>

共通

症状	原因	対処方法
電源がオンにならない/ 動作が不安定になっている。	本機に電源が供給されていない。	電源ケーブルの接続を確認してください。(→ P.22)
	ヒューズが切れている。	お買い上げの販売店にご相談ください。
	—	本体の RESET ボタンを押してください。(→ P.12)
microSD カードを認識しない。	microSD カードスロットに microSD カードが入っていない。	microSD カードを microSD カードスロットに挿入してください。(→ P.26)
	microSD カードがフォーマットされていない。	フォーマットを行ってからご使用ください。(→ P.53)
	microSD カードの読み込み / 書き込みができなくなっている。	microSD カードをフォーマットしてください。(→ P.53)
	フォーマットしても microSD カードエラーが表示される。	それでも症状が改善しない場合は、microSD カードを交換してください。
録画ファイルが見つからない。	録画領域に空きがないため、古いファイルが上書きされた。	必要な録画ファイルをパソコンに保存してから録画を開始してください。
	16GB より容量が少ないため録画ファイルを作成できない。	容量が16GB~128GBの microSD カードをご使用ください。(→ P.14)
録画されたファイルの映像が鮮明でない。	レンズが汚れている。	柔らかい布などで乾拭きしてください。
	保護シートが剥がされていない。	保護シートを剥がしてください。(→ P.23)

症状	原因	対処方法
電源が切れない	車種によっては、エンジンをオフしても、しばらく車両側のACC電源がオフされない。	お買い上げの販売店にご相談ください。
	ACC電源のオフを検知できない。	配線に誤りがないか確認してください。(→ P.22)
	「駐車モード設定」がオンになっているとLCD画面は消灯しますが、LEDインジケータの点灯(緑)は継続する。	「駐車モード設定」をご確認ください(→ P.32)
録画を開始するときに、「2ndカメラが未接続です。1台のカメラで記録を開始します。」というメッセージが表示され、画面に「  」が表示されたまになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・2ndカメラが正しく接続されていない。 ・車外後方撮影用カメラケーブルが途中でかみ込みなどで断線している。 ・車外後方撮影用カメラケーブルのコネクタ(L型/ストレート型)の端子が汚れている。配線時などに汚れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2ndカメラの接続を確認してください。(→ P.22) ・車外後方撮影用カメラケーブルの配線を確認してください。 ・汚れをふき取ってください。
2ndカメラの映像に切り替わらない。		
2ndカメラの映像が記録されていない。		
「ファイル再生」の選択画面で「  」が表示される。	何らかの原因で再生できないファイルが録画された。	必要なファイルをパソコン等に保存してからmicroSDカードを本機でフォーマットしてください。(→ P.53) それでも同じ表示が出る場合は、新しいmicroSDカードに交換してください。

故障かな？と思ったら

駐車録画

症状	原因	対処方法
駐車録画ができない。	「駐車モード」が「オン」になっていない。	「駐車モード設定」で駐車モードを「オン」にしてください。 (→ P.32)
	ACC 電源のオフを検知できない。	配線に誤りがないか確認してください。(→ P.25)
	microSD カードが挿入されていない。	正しい手順で microSD カードを挿入してください。 (→ P.26)
	駐車録画中に microSD カードを入れ替えた。	正しい手順で microSD カードを入れ替えてください。 (→ P.26)
	本機の電源を手動でオフにした。	本機の電源はオンのままエンジンスイッチをオフしてください。
	カットオフ電圧設定を高い電圧値に設定しているため、電源がオフされた。	カットオフ電圧設定の設定値を低くしてください。
	バッテリー電圧が低下している。 (目安としてバッテリー電圧が 12.0V/24.0V未満の場合は駐車録画は正常に動作しません。)	お買い上げの販売店にご相談ください。
録画ファイルが見つからない。	録画領域に空きがないため、古いファイルが上書きされた。	必要な録画ファイルをパソコンに保存してから、駐車録画機能をご使用ください。
「駐車録画があります」と音声ガイドされる	乗り降りやドアを閉めたときなどに、振動を検知して駐車録画が開始することがあります。	駐車モードの「衝撃検出感度設定」で衝撃検知の感度を下げてください。(→ P.48)

イベント記録

症状	原因	対処方法
車両に衝撃がないときにイベント記録の警告音が鳴り続けている。	<ul style="list-style-type: none">電源オン時の G センサーの補正値が正しく設定されていない。急な坂道を走行している。正しい位置に取り付ける前に電源をオンにした。	<ul style="list-style-type: none">本機を正しい位置に取り付けてから電源をオフ/オンしてください。平らな状態で電源を入れ直してください。録画設定の「イベント感度設定」で衝撃検知の感度を下げてください。(→ P.49)

症状	原因	対処方法
残したい映像が見つからない。	残したい映像がイベント記録時間に収まらなかった。	常時録画を保存しているフォルダから、イベント記録後に作成されたファイルを確認してください。

運転支援

症状	原因	対処方法
運転支援機能が正しく動作しない。	調整がずれている。	「運転支援機能を使う」を参照して、検出範囲を再設定してください。(→ P.41)
	雨の日や夜間に走行している。	雨の日、夜間など、環境により正しく動作しないことがあります。
	衛星の信号を受信できない。	衛星の信号を受信できていないと、速度や車間距離などが正しく測位できないため、機能が正しく動きません。
	「カメラ位置調整」の設定がされていない。	「運転支援機能を使う」を参照して、「カメラ位置調整」の設定をしてください。(→ P.40)
運転支援機能が正しく動作しない。(設定が変更できない)	「録画モード」の設定で「長時間1」または「長時間2」が選択されている。	「録画モード」の設定で「標準」を選択してください。(→ P.49)
	運転支援機能が自動でオフになっている。	運転支援機能を使用する際、「発進遅れ警告」「車線逸脱警告」「前方衝突警告」(前方カメラを使用する機能)をオンにすると「後方急接近警告」(後方カメラを使用する機能)は自動的にオフになります。また、「後方急接近警告」をオンにすると「発進遅れ警告」「車線逸脱警告」「前方衝突警告」は自動的にオフになります。設定をオンにしたい運転支援機能が自動でオフになってしまっていないか、設定を確認してください。(→ P.40)
リフレッシュ通知が設定した時間になっても通知されない。	メニュー表示など録画が中断されるとタイマーはリセットされる。	録画が中断される操作はしないでください。

故障かな？と思ったら

時計

症状	原因	対処方法
時計がずれる。	自動設定時、標準時間設定(タイムゾーン)がずれている。	標準時間設定を正しく設定してください。 日本の「タイムゾーン」設定は、「GMT+09:00」です。 (→ P.50)

KENWOOD ROUTE WATCHER II

症状	原因	対処方法
KENWOOD ROUTE WATCHER II が起動しない。	管理者権限でのインストールをしていない。	管理者権限でインストールしてご使用ください。(→ P.55)
2nd カメラの映像がメインユニットの映像とリンクして再生されない。	最新のソフトウェアを使用していない。	最新のソフトウェアをダウンロードしてください。 (→ P.55)

表示メッセージと音声ガイド

一部のメッセージは、液晶画面へのエラー表示だけでなく、音声でもお知らせします。

メッセージ	原因	対処方法
新しいSDカードを検出しました。フォーマットしますか？ 🔊 音声ガイド 「SDカードの初期化が必要です」	microSDカードが認識できる形式でフォーマットされていない。	[画面切替] (決定) ボタンを押して、フォーマットを行ってください。
SDカードエラーです。フォーマットをお試しください。 🔊 音声ガイド 「SDカードエラーです」	認識できないmicroSDカードが挿入されている。	microSDカードを本機でフォーマットしてください。(→ P.53) フォーマットしても、同じ表示が出る場合は、新しいmicroSDカードを入れてください。(→ P.26)
SDカードが入っていません 🔊 音声ガイド 「SDカードがありません」	<ul style="list-style-type: none"> ・microSDカードを入れていない状態で電源をオンにした。 ・microSDカードが抜けたことに気づかずに、microSDカード関連のメニュー設定を行った。 	microSDカードを入れてください。(→ P.26)
他のSDカードを入れてください	microSDカードのデータが読めない。	新しいmicroSDカードを入れてください。(→ P.26)
2ndカメラが未接続です。1台のカメラで記録を開始します。 🔊 音声ガイド 「セカンドカメラが接続されていません」	2ndカメラが接続されていない。 2ndカメラのケーブルが正しく接続されていない。 ケーブルの先端が汚れている。	2ndカメラを接続してください。(→ P.22) 2ndカメラのケーブルの接続を確認してください。 ケーブルの先端をきれいにしてください。
衛星を受信できていません。	トンネルや建物の中にいる。または、悪天候や障害物の影響を受けているため、衛星の信号を受信できない。	障害物のない見通しの良いところで衛星の信号を受信できるか確認してください。(→ P.12)
🔊 音声ガイド 「非対応のSDカードです」	推奨するmicroSDカード容量以外のmicroSDカードが挿入されました。	本機で推奨するmicroSDカード容量である16GB～128GBの容量のmicroSDカードをご使用ください。
🔊 音声ガイド 「録画を中止しました」	録画中にmicroSDカードが抜かれました。	録画データの破損やmicroSDカードが壊れる可能性があります。microSDカードを抜く場合は、本機の電源をオフにしてください。

故障かな？と思ったら

メッセージ	原因	対処方法
<p>🔊 音声ガイド 「SDカードの交換推奨時期です」</p>	ご使用の micro SDカードが書き換え回数の限界に到達しました。	本機で推奨する micro SDカードへ交換してください。
<p>🔊 音声ガイド 「駐車録画があります」</p>	駐車中に駐車録画が行われました。	本機で再生するか、またはビューアースフトで確認してください。
<p>🔊 音声ガイド 「本体異常により、録画ができません」</p>	本機にて異常が発生し録画を停止しています。	お買い上げの販売店にご相談ください。
<p>イベント記録用の空き容量不足のため、ファイルの古い順で上書きします。</p> <p>🔊 音声ガイド 「イベント記録フォルダがいっぱいです」</p>	イベント記録フォルダが録画可能上限ファイル数に到達しました。	古いファイルから上書きされますので、大切な映像はパソコン等に保存してください。
<p>🔊 音声ガイド 「駐車録画フォルダがいっぱいです」</p>	駐車録画フォルダが録画可能上限ファイル数に到達しました。	古いファイルから上書きされますので、大切な映像はパソコン等に保存してください。

付録

モニター画面について

- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たると長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったり、残像が見えることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点が出る場合があります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面の特性により、画面を見る角度によっては表示が見づらいことがあります。故障ではありません。
- 極端に車内が高温から低温になると（直接エアコンの送風口を当てる）LCD画面がくもる場合があります。これは故障ではありません。しばらくすると回復します。長時間回復しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

商標について

- Windows、Windows Media は 米 国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Apple、Mac、OS X は米国およびその他の国で登録された米国 Apple, Inc. の商標です。
- Intel Core は、アメリカ合衆国および/またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。
- 本製品は AVC Patent Portfolio License に基づき、以下の用途にのみライセンスされています。
 - 1) 消費者が個人的かつ非営利目的で、MPEG-4 AVC 規格に準拠する動画（以下、AVC Video）を記録する場合
 - 2) AVC Video（消費者が個人的に非営利目的で記録したもの、または MPEG LA よりライセンスを取得したプロバイダが記録したもの）を再生する場合

- STARVIS および **STARVIS** は、ソニーグループ株式会社およびその関連会社の登録商標または商標です。

ソフトウェアについて

本製品には、以下に記載しています第三者のソフトウェアが含まれています。各ソフトウェアについては、後述するライセンス条件が適用されます。

Portable UPnP SDK
適用ライセンス：BSD 3-Clause "New" or "Revised" License

Konatu Font
適用ライセンス：MIT License

Google Noto Font
適用ライセンス：SIL Open Font License 1.1

第三者のソフトウェアに適用されるライセンス条件

BSD 3-Clause "New" or "Revised" License

Copyright (c) 2000-2003 Intel Corporation
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither name of Intel Corporation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL INTEL OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

MIT License

Copyright (c) 2012 MASUDA mitiya

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF

CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

SIL Open Font License 1.1

Copyright 2018 The Noto Project Authors
(github.com/googlei18n/noto-fonts)

This Font Software is licensed under the SIL Open Font License, Version 1.1.

This license is copied below, and is also available with a FAQ at:
<http://scripts.sil.org/OFL>

SIL OPEN FONT LICENSE Version 1.1 - 26
February 2007

PREAMBLE

The goals of the Open Font License (OFL) are to stimulate worldwide development of collaborative font projects, to support the font creation efforts of academic and linguistic communities, and to provide a free and open framework in which fonts may be shared and improved in partnership with others.

The OFL allows the licensed fonts to be used, studied, modified and redistributed freely as long as they are not sold by themselves. The fonts, including any derivative works, can be bundled, embedded, redistributed and/or sold with any software provided that any reserved names are not used by derivative works. The fonts and derivatives, however, cannot be released under any other type of license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the fonts or their derivatives.

DEFINITIONS

"Font Software" refers to the set of files released by the Copyright Holder(s) under this license and clearly marked as such.

This may include source files, build scripts and documentation.

"Reserved Font Name" refers to any names specified as such after the copyright statement(s).

"Original Version" refers to the collection of Font Software components as distributed by the Copyright Holder(s).

"Modified Version" refers to any derivative made by adding to, deleting, or substituting -- in part or in whole -- any of the components of the Original Version, by changing formats or by porting the Font Software to a new environment.

"Author" refers to any designer, engineer, programmer, technical writer or other person who contributed to the Font Software.

PERMISSION & CONDITIONS

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Font Software, to use, study, copy, merge, embed, modify, redistribute, and sell modified and unmodified copies of the Font Software, subject to the following conditions:

- 1) Neither the Font Software nor any of its individual components, in Original or Modified Versions, may be sold by itself.
- 2) Original or Modified Versions of the Font Software may be bundled, redistributed and/or sold with any software, provided that each copy contains the above copyright notice and this license. These can be included either as stand-alone text files, human-readable headers or in the appropriate machine-readable metadata fields within text or binary files as long as those fields can be easily viewed by the user.

- 3) No Modified Version of the Font Software may use the Reserved Font Name(s) unless explicit written permission is granted by the corresponding Copyright Holder. This restriction only applies to the primary font name as presented to the users.

- 4) The name(s) of the Copyright Holder(s) or the Author(s) of the Font Software shall not be used to promote, endorse or advertise any Modified Version, except to acknowledge the contribution(s) of the Copyright Holder(s) and the Author(s) or with their explicit written permission.

- 5) The Font Software, modified or unmodified, in part or in whole, must be distributed entirely under this license, and must not be distributed under any other license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the Font Software.

TERMINATION

This license becomes null and void if any of the above conditions are not met.

DISCLAIMER

THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.

ソフトウェア使用許諾契約書

株式会社 JVC ケンウッド（以下、「ライセンサー」）が提供する本体組み込みソフトウェア（以下、「許諾ソフトウェア」）はライセンサーが著作権を有するか、又は再使用許諾をする権利を有し、本契約はこの「許諾ソフトウェア」に関するお客様のご使用条件を定めたものです。

お客様は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、この「許諾ソフトウェア」をご使用いただくものと致します。お客様（以下、「使用者」）が「許諾ソフトウェア」を搭載した本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的に又は間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。その場合には一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別にお客様に対して使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては、本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます。「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」を必ずご覧ください。

第 1 条（総則）

ライセンサーは、許諾ソフトウェアの日本国内における非独占的かつ譲渡不能な使用权（第 3 条第 1 項に定める例外を除く）を使用者に許諾します。

第 2 条（使用权）

1. 本契約によって生ずる使用权とは、許諾ソフトウェアを本製品で使用する権利をいいます。
2. 使用者は許諾ソフトウェア及び関連書類の一部若しくは全部を複製、複写、修正、追加、翻訳等の改変、若しくは貸与することができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的と否とに関わらずいかなる目的でも頒布、ライセンス、若しくはサブライセンスをすることができません。

4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書又はヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部又は一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。

第 3 条（許諾条件）

1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア（その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む）の使用权については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。
2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のコード解析作業を行ってはならないものとします。

第 4 条（許諾ソフトウェアの権利）

許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサー又はライセンサーに許諾ソフトウェアの使用权と再許諾権を許諾した原権利者（以下、原権利者）に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用权以外の権利を有しないものとします。

第 5 条（ライセンサーの免責）

1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用权を行使することにより生じた使用者若しくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは「許諾ソフトウェア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第 6 条 (第三者に対する責任)

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第 7 条 (秘密保持)

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示又は漏洩しないものとします。

第 8 条 (契約の解除)

ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、又はそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。

- (1) 本契約に定める条項に違反したとき
- (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第 9 条 (許諾ソフトウェアの廃棄)

前条の規定により本契約が解除された場合、使用者は、契約が解除された日から 2 週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

第 10 条 (著作権保護)

1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他一切の知的財産権は、ライセンサー及び原権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権及び知的財産権に関連する法律に従うものとします。

第 11 条 (輸出規制)

1. 許諾ソフトウェア及び関連書類等を日本国外に輸出すること(インターネット等を利用した日本国外への送信を含みます)はできないものといたします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国及びアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
3. 使用者は、本ソフトウェアに適用される一切の国際法及び日本国の法律(アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザ、エンドユーザによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます)に従うことに同意するものとします。

第 12 条 (その他)

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき条項若しくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。

主な仕様

メインユニット

電源電圧	DC14.4V/28.8V (8.5V～30V)
録画時消費電流 (最大)	360mA (0.9A)
測位衛星	GPS /QZSS (準天頂衛星)
G センサー	-3.0G～+3.0G : 6段階
液晶サイズ	2.0型 フルカラーTFT 液晶
撮像素子	1/2.8型 フルカラーCMOS
最大記録画角	水平: 約 131° / 垂直: 約 68° / 対角: 約 163°
F 値	F1.8
HDR 機能	対応 (常時 ON)
動作温度範囲	-10℃～+60℃
記録解像度	Full-HD (1920 × 1080) (動画約 207 万画素)
フレームレート (最大)	27.5fps
記録方式	常時録画 / イベント記録 / 手動録画 / 駐車録画
常時録画ファイル単位	1 分
録画フォーマット (動画)	H.264 (MP4)
録画フォーマット (静止画)	JPEG 準拠 (1920 × 1080)
記録映像再生方法	本体、もしくは Windows 標準の Windows Media Player など専用ビューアソフト対応* (当社ホームページよりダウンロード) *専用ビューアソフト以外での再生では、音声出力に対応していない場合があります。
記録メディア	microSD カード 16GB～128GB 対応 V30 以上推奨
外形寸法 (W) × (H) × (D) (突起物除く)	W : 68.8mm/H : 65mm/D : 33.8mm ブラケット (テープ貼り付け) 装着時高さ : 最大 99mm
質量 (重さ) (ブラケット/ケーブル含まず、 microSDカード含む)	95g
電源ケーブル長	3.5m ガラス管ヒューズ: φ6.4 X L30mm 0.5A(アクセサリコード) φ6.4 X L30mm 2A(バッテリーコード)

2nd カメラ

撮影素子	1/2.8 型 フルカラーCMOS
最大記録画角	水平：約 131° / 垂直：約 68° / 対角：約 163°
F 値	F1.8
HDR 機能	対応 (常時 ON)
動作温度範囲	-10℃～+60℃
記録解像度	Full-HD (1920 × 1080) (動画約 207 万画素)
フレームレート (最大)	27.5fps
録画フォーマット (静止画)	JPEG 準拠 (1920 × 1080)
外形寸法 (W) × (H) × (D) (突起物除く)	W : 60mm/H : 25mm/D : 28.5mm ブラケット (テープ貼付け) 装着時高さ : 最大 53mm
質量 (重さ) (ブラケット/ケーブル含まず)	28g
接続ケーブル長	8.0m

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

● システム更新について

本機のシステムファームウェアを更新します。アップデートに関する情報やアップデート手順は、当社ホームページ <https://www.kenwood.com/jp/support/car/> をご覧ください。

保証とアフターサービス

保証について

- 保証書 この製品には、保証書を添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間 お買い上げの日より1年です。

修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたは JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

- ホームページ
<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>
- JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター
0120-2727-87（固定電話からはフリーダイヤル）
0570-010-114（携帯電話、PHS からはナビダイヤル）
045-450-8950（一部 IP 電話など）/ FAX 045-450-2308
受付時間などは、裏表紙を参照してください。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(→ P.56) または当社ホームページの FAQ (→ P.56) を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は…

保証規定に従って、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書に必要事項を記入の上、ご提示ください。本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書および保証規定をご覧ください。

● 保証期間経過後は…

お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

● 補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 持込修理 この製品は持込修理とさせていただきます。

- 製品をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。（本機や一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。
- 保証期間内外に関わらず、修理、点検のために製品を車両から取り外し、または取り付けの作業費用の負担、および作業のご依頼は承っておりません。

● 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

- 技術料： 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代： 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

保証規定

- 保証書に呈示の保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドサービスにて無料修理をさせていただきます。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。なお、修理に際しては必ず本保証書をご提示ください。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。
- 次の場合には保証期間内でも有料になります。
 - 本保証書のご提示のない場合。
 - 本保証書に形名 / 製造番号の印字のない場合、または字句を書き替えられた場合。
 - 本保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
 - 使用上の誤り、結露や水濡れあるいは不当な改造、修理、加工による故障および損傷。(取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、責任を負いません。)
 - 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
 - お買い上げ後の取り付け場所の移動、輸送、落下、冠水などによる故障および損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障および損傷。
 - 一般車載用途以外に使用された場合の故障および損傷。(例えば、業務用の長時間使用、船舶<船舶用製品を除く>、直流電源装置を用いた一般家庭での使用等)
 - 製造番号の改変および、取り外した製品。
 - 消耗部品(例えば、SD メモリーカード、乾電池、充電電池等)の交換。
 - 持込修理対象品でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。
 - 予告なく変更や追加される、あるいは規格の異なる記録媒体、アプリケーション、コンテンツ、放送および電源電圧による不具合。(インターネットを使用して提供されるサービスは、予告なく休止したり、サービス自体が終了されたりする場合がありますので、あらかじめご了承ください。)
- 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 本保証書は、再発行しません。大切に保管してください。

※ 修理の内容は修理伝票に記載し、お渡します。

※ 本保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。

※ 保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは本取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

※ 本保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

形名／製造番号		※お買い上げ日	
DRV-MR570D		年 月 日	
		保証期間（お買い上げ日より）	
		本体： 1 年	
※お客様	お名前		様
	ご住所 〒		
		電話番号 ()	
※販売店	店名・住所		
	電話番号 ()		

公開用

※印欄は必ずご記入ください。

お客様の正常なご使用状況で万が一故障した場合には、本書記載内容により無料修理させていただきます。

- 無料修理の条件について、詳しくは本ページ裏側の「保証規定」をご覧ください。
- 修理は、本保証書を添えてお買い上げの販売店または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

- ・ 商品に関するお問い合わせは、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)
 0570-010-114 (携帯電話、PHSからはナビダイヤル)
 045-450-8950 (一部 IP 電話など) / FAX 045-450-2308
 住所 〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
 受付時間 月曜～金曜： 9:30～18:00
 土曜： 9:30～12:00、13:00～17:30
 (日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- ・ 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>) または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。